

# まちづくり協議会要覧

2023 作成

会 長	田 蓑 瑞 明	所在地	鳥取市東町三丁目 371-2
事務局長	木村 昭彦	TEL/FAX	0857-23-4148 / 0857-23-4180
設立年月日	平成 21 年 6 月 19 日	Mail	cc-kyusho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	約 2,400 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kyusho-1
組織構成	生活安全部会、健康福祉部会、文化教養部会、次世代育成部会		

### 地域コミュニティ計画 『久松地区地域コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 23 年 3 月 10 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 「みんなで住みよい久松地区をつくろう」
- 1 生活と安全のまちづくり 2 健康と福祉のまちづくり 3 文化と教養のまちづくり 4 次世代を育成するまちづくり

#### ◆ 地域の課題

久松地区は高齢化率が 30% を超えており、年々高まることが予想されています。65 歳を過ぎても働く人が増えたこともあり、町内会や地域の各種団体の役員を受けの人を見つけることが困難になってきています。また、高齢者が亡くなったあと空き家になることも多く、防犯や衛生面での影響がでることがある他、空き家がアパートやマンションに変わることも多く、その住人と地域とのつながりが希薄になってきています。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 久松山頂での『大』文字点灯（8月盆の3日間）・三階櫓（二ノ丸）石垣での文字点灯（12月の5日間）

この事業は東日本大震災があった年から、東日本大震災・鳥取大火・鳥取地震等に対して鎮魂の意を表し、「久松山を考える会」が中心となって実施しています。本年はこの事業開始から 13 年目になり、市民の認知度も上がってきており継続が大切だと思っています。

##### 事業② 防災活動

自主防災力を高めるため、今まで防災委員会を中心に検討や訓練などを行ってきたことをベースにして、各町内自主防災会や防災リーダーの一層の連携を図り、地区の自主防災会としての体制、取り組みに発展させました。防災用品の充実、避難所開設のマニュアル作成を進め、実際の避難所開設訓練を定期的に行うなどの活動に取り組んでいます。

また、災害発生時の水源確保のため、公民館敷地に災害対策井戸を完成させました。

##### 事業③ 子ども達の健やかな育成事業

おやじの会、学校保護者会、子ども会などが中心となって、楽しく参加できる企画を多数実施しています。特に夏休み期間中に実施する「久松わくわく体験」は内容も多彩で人気の企画です。

#### ◆ 今後の計画

事業を実施する場合には、各部会・各種団体の動きにかかってくると思います。しかし、各種団体も自分たちの事業もあるもので、少し難しい面もあり、なかなかスムーズにいかないのは当然であると考えています。

コロナ禍で中止していた事業の再開にあたっては、良い伝統を守りつつ、時代に合った新しい取り組みも検討していきます。

今後は、「住みよい久松地区をつくる会」が地域の皆様の協力を得て、どのような事業を実施しているのかという広報を充実させ、沢山の方に参加していただくよう努力をしていきたいと思っています。

会 長	米澤 高明	所在地	鳥取市西町五丁目 353-1
事務局長	井上 和之	TEL/FAX	0857-26-2568 / 0857-26-2572
設立年月日	平成 21 年 3 月 27 日	Mail	cc- jyunpu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,800 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/junpu-1
組織構成	総務部、安全・安心・環境部、福祉・健康部、ふれあい・人づくり部		

地域コミュニティ計画 『醇風地区地域コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 22 年 8 月 27 日
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標
  - ◎ みんなが参加し、強い絆で結ばれるまちづくり
  - ◎ 福祉と健康のまちづくり
  - ◎ 安全・安心で美しい環境のまちづくり
  - ◎ 豊かなふれあいと地域に誇りを持つ人づくり

◆ 地域の課題

かつては鹿野街道を中心とした賑やかな商業の町でしたが、大地震・大火災後は、静かな住宅地に変容し、現在は、高齢化が進み、単身世帯の増加、孤独死、空き家問題が身近にある地域となっています。

◆ 主な活動内容

事業① 醇風夜ざくら道路

本協議会設立の翌年から実施し、14 年目を迎えます。桜の開花に合わせて、地元保育園・幼稚園・小学校・地域の皆様の作品をボンボリにして、袋川桜土手に飾ります。同時開催：和紙明かり、あおぞらギャラリー

事業② 醇風ふれあいまつり

本協議会設立の年から実施し、15 年目を迎えます。作品展示、販売、くじ引き、子どもの遊びの各コーナーを設けて、多くの地域の子ども・大人で賑わい、地域の恒例行事として定着しています。

事業③ 醇風まちづくり研究会

昨年度から、まちづくり協議会のあり方について検討する取り組みを始めています。「SDGs から考える醇風地区の未来」と題した講演とワークショップを継続して開催しています。

◆ 今後の計画

- ・ 近年、本協議会のメンバーの高齢化、固定化、組織・運営の硬直化、多様な人（若者・企業等）の参加がないこと、事業のマンネリ化が言われるようになり、「地域の課題を見出し取り組む」という本来の会の目的が果たせていないとの意見が高まっていた。
- ・ 昨年度から、従来からの三大事業『醇風夜ざくら道路』、『醇風ふれあいまつり』、『あいさつ運動』を実施しながらも、新たに本協議会のあり方検討に取り組むこととした。
- ・ あり方検討は、「あり方検討委員会」と「醇風まちづくり研究会」の 2 つの方向で進んでいる。前者は、地域の若者、女性を交えて委員会を構成し、本協議会の組織の在り方、活動の見直しを行い、後者は、公立鳥取環境大学甲田先生の指導により SDGs の視点から望ましい地域の将来像を考え、大学生によるワークショップを実施している。
- ・ 検討委員会で現状の問題点を洗い出し、研究会で未来のため何をすべきかを考えるという 2 つの切り口で進んでおり、両者は連動しながら本会のあり方検討に取り組んでいる。

会 長	橋尾 泰博	所在地	鳥取市本町一丁目 109
事務局長	山根 健吾	TEL/FAX	0857-27-8562 / 0857-27-8566
設立年月日	平成 21 年 9 月 29 日	Mail	cc-senkyo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	683 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/senkyo-1
組織構成	お年寄りにやさしいまちづくり部、子どもにやさしいまちづくり部、にぎわいのあるまちづくり部		

### 地域コミュニティ計画 『遷喬地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 29 日（令和 5 年 4 月 1 日 第 13 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標 遷喬地区まちづくり協議会・三部会の各事業に、地区住民のお年寄りから子どもまで参加し、ふれあいの中から元気で明るく笑顔のあふれるにぎわいのあるまちづくりに取り組む。

### ◆ 地域の課題

遷喬地区は高齢化率が高く、今後もさらに高まることが予想されています。年金支給開始年齢が引き上げられることに伴い、60 歳を超え 70 歳近くまで働く人が増えたこともあって、町内会や地域の各種団体の役員の選任が困難な状況となっています。また、まちづくり協議会や公民館などの行事への参加者数が減少し、参加者が固定化する傾向にあります。

さらに、マンションやアパート世帯の町内会への加入率は依然として低い上に、町内会から脱会する世帯もあることから、住民間のつながりが希薄になる傾向にあります。

### ◆ 主な活動内容

遷喬地区の課題は、「高齢者対策」「少子化対策」「まちのにぎわい対策」であり、この課題を三つの部会で整理しながら、事業計画を各部が策定して取り組んでいます。

#### ○お年寄りにやさしいまちづくり部（部員 7 名）

お年寄りに配慮し、会話と見聞の楽しめる「まち中歩き事業」を年 5 回取り組みます。

#### ○子どもにやさしいまちづくり部（部員 10 名）

子どもと地区住民が実際にふれあうために、小学校児童の登校時に「あいさつ運動事業」を展開し、地区の大人と子どもたちとの関わり合いを強めることに取り組みます。（年 2 5 日間）

#### ○にぎわいのあるまちづくり部（部員 10 名）

サマーフェスティバル等の交流イベント、「遷喬地区 味めぐり（スタンプラリー）」を開催し、「遷喬地区にぎわいの創出事業」を継続して取り組みます。

#### ○三部会の広報担当（各 1～2 名） 「遷喬まちづくり通信」を編集・発行します。

### ◆ 今後の計画

○お年寄りにやさしいまちづくり部は、まち中から市の郊外、他地区とのふれあい交流をするために、マイカーとバス利用も取り入れ、行動範囲を拡げ、目的地のガイドを地元の講師にお願いする内容と、くつろぎのある事業に取り組みます。

○子どもにやさしいまちづくり部は、朝のあいさつを中心に、地区の児童だけではなく、通勤・通学の方々にも声を掛け、笑顔あふれる明るいまちづくり事業に取り組みます。

○にぎわいのあるまちづくり部は、今年も地区の男女に呼びかけ、7 月に「サマーフェスティバル遷喬（夏まつり）」を、9 月に「お月見会（芋煮会）」を実施し、地区民の交流を図ります。さらに食のイベントとして遷喬地区 味めぐり（スタンプラリー）を継続して取り組みます。

○広報担当は、年 2 回のまちづくり通信の発行を目標に、事業参加者の顔が見える編集に取り組みます。

会 長	石本 昭雄	所在地	鳥取市吉方町一丁目 201
事務局長	豊福 聡	TEL/FAX	0857-26-5914 / 0857-26-5918
設立年月日	平成 22 年 3 月 6 日	Mail	cc-shuritsu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,202 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/shuritsu-1
組織構成	安全安心、健康な生活、福祉人権尊重、地域の特色、学校支援、ものづくり人づくりグループ		

## 地域コミュニティ計画 『修立地区まちづくり推進計画』

- 策定期間 平成 23 年 3 月 25 日（令和 5 年 4 月 23 日 第 5 次計画 改訂）
- 支援宣言 平成 24 年 8 月 27 日
- 目 標 明るく元気に、力を合わせて 豊かな文化と心を育むまちづくり

### ◆ 地域の課題

令和 4 年度に全戸対象のまちづくりに関するアンケートを実施。そのアンケートの回答の分析結果を基に、まちづくり推進計画策定委員が協議を重ね、次の 3 つの地域課題（今後 3 年間改善、解決に向けて重点的に取り組む内容）を導きだしています。①「関わり合う機会の減少」②「防災体制の整備」③「次世代育成のシステム」

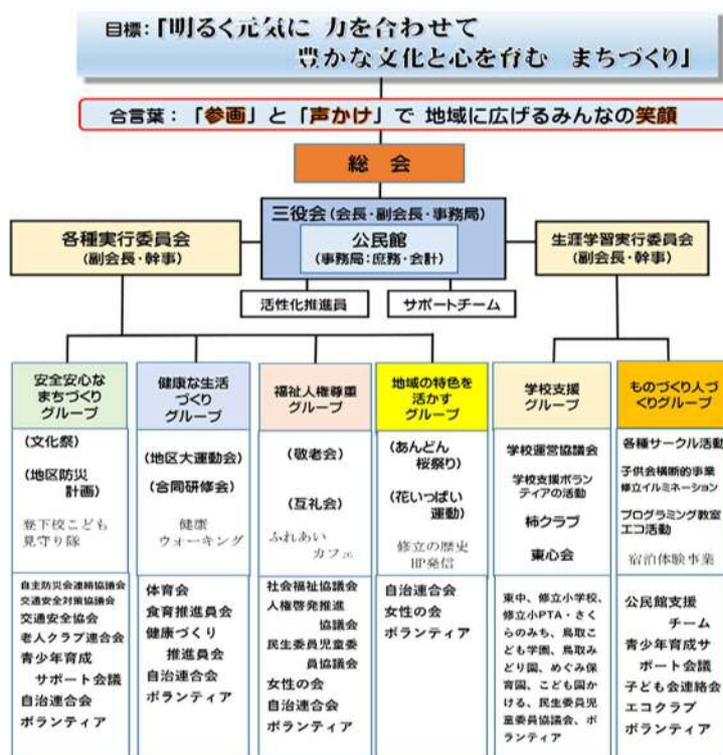
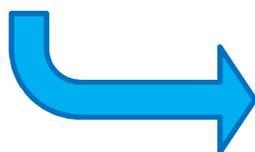
### ◆ 主な活動内容

令和 5 年度から一括交付金制度を活用して、まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織の一体化を実現しました。

一体化にあたっては「より多くの人材が参画し、主体的に運営しやすい持続可能な新組織」をコンセプトに、グループ組織（ゆるやかなまとまり）を中心とした組織の改編を行いました。

右図の（ ）内は、各グループ内の各団体が協働して取り組む既存の地域行事です。

下段の行事は、課題の改善、解決に向けて新たに取組もうと考えている行事です。



### ◆ 今後の計画

- 4 月上旬 あんどん桜まつり①（フォト・俳句コンテスト、約千個のあんどん撤去）
- 6 月上旬 スーパーボランティア事業①（県道植栽柵の除草、花の植付）
- 7 月上旬 団体交流研修会（町内会・団体役員・教育関係者が一堂に会する研修会）
- 8 月上旬 子ども宿泊体験活動（ボランティアの大人と子供たちだけで行う県外宿泊体験活動）
- 9 月上旬 敬老会（4 年ぶりに社会福祉協議会との共催で実施）
- 10 月下旬 文化祭（2 年ぶりに開催。地域総がかりの一大イベント）
- 11 月中旬 スーパーボランティア事業②（天神川法面除草と水仙球根 400 個の植付）
- 12 月下旬 修立イルミネーション（イルミネーション点灯式に合わせてクリスマス会を実施）
- 2 月中旬 あんどん桜まつり行灯作成（地域の保幼小中の子供たちが手作りの行灯を作成）
- 3 月中旬 あんどん桜まつり②（千個の手作り行灯を天神川土手に取付）

会 長	入 江 峰 生	所在地	鳥取市吉方温泉一丁目 131
事務局長	木 村 京 子	TEL/FAX	0857-23-3960 / 0857-23-3963
設立年月日	平成 21 年 5 月 21 日	Mail	cc-nissin@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,766 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nissin-1
組織構成	にぎわいのあるまちづくり部会、暮らしやすいまちづくり部会 防犯防災対策が徹底しているまちづくり部会、健康を推進するまちづくり部会、総括管理部		

### 地域コミュニティ計画 『日進地区コミュニティまちづくり計画』

- 策定時期 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 活動の理念
  - 1 「住みよいまち」にするために、「どのようなまちにしていくなか」を皆で話し合っていく場をつくる。
  - 2 「どのような問題点があるか」そのために「何をすればよいか」等について皆でよく話し合い、意見をまとめていく。
  - 3 「住民一人ひとり」が町内や地区などの抱える問題点を共有して、それを解決するための取り組みを行う。
  - 4 今「まちがどうなっているのか」を、皆が共通の認識を持って「まちの将来像」を描いていく。

#### ◆ 地域の課題

日進地区は飲食店・一軒家・マンション・商業店舗・病院などが混在した地域です。また、近年は小学校の児童数の減少、住民の高齢化や空き家の増加が目立ちます。そのため、町内会や地域各種団体の役員も長年担っている方が多く、人材を見つけるのに苦労しています。また、地域や町内会のイベントへの若い世代の参加にも苦労しています。そのため、住民同士の関りや交流が少なくなり、つながりが希薄になっています。夜の飲食店街もあるので、防犯面にも危惧しています。

#### ◆ 主な活動内容

- (1) にぎわいのあるまちづくり ① 納涼祭（きんさい祭り）の開催（中止） ② 公民館まつりへの協力（10月）  
③ 公民館クリスマスイルミネーションフェスティバルへの協力（12月）
- (2) 暮らしやすいまちづくり ① 小学校フェンスにプランターを設置（4月） ② 地区内の児童通学路沿いの安全点検  
③ 町内会への飾花プランター配布
- (3) 防犯・防災対策が徹底しているまちづくり ① 南中校区一斉あいさつデー（毎月第1水曜日）  
② 防災リーダーの育成 資格取得者33名 ③ 日進小と連携した地区防災訓練（中止）
- (4) 健康を推進するまちづくり ① 日進小・地区合同大運動会（中止） ② 体育会と共催「ふれあいウォーキング」  
③ 青少年育成協共催「子どもとのGG大会」（10月） ④ 日進GG同好会の支援
- (5) 協議会の運営 ① 総会・役員会（6回／年）の開催 ② まちづくり情報誌（1回／年）発行

#### ◆ 今後の計画

- (1) にぎわいのあるまちづくり ① 住民が集い・交流を深めるイベントの開催…納涼祭（きんさい祭り）の開催  
② 人が集まる賑わい広場（公民館事業）への協力 ③ しゃんしゃん祭り（日進連）参加への支援
- (2) 暮らしやすいまちづくり ① きれいな街づくり…地区内の街並みを花で飾る活動（日進小前花壇・花づくり等）  
② 安全な通学路対策…グリーンベルト整備・危険箇所点検
- (3) 防犯・防災対策が徹底しているまちづくり ① 日進地区防災防犯対策…防災リーダーを中心とした活動  
② 安全対策…交通安全・児童の見守り対策、日進小・南中CS運動（あいさつ）協力
- (4) 健康を推進するまちづくり  
① 健康づくり…日進小・地区運動会、ふれあいウォーキング、日進小児童とのGG大会、ポッチャ大会等
- (5) 協議会企画運営の実施 ① まちづくり情報誌発行（1回／年） ② 総会・役員会・各部会開催

会 長	望月 進	所在地	鳥取市行徳 1 丁目 210-2
事務局長	西山 佳夫	TEL/FAX	0857-23-0988 / 0857-23-0993
設立年月日	平成 21 年 8 月 24 日	Mail	cc-meitoku@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1766 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nissin-1
組織構成	「福祉・人づくり専門部会」「安全・安心専門部会」 「健康・体育専門部会」「文化伝承・環境美化専門部」		

地域コミュニティ計画 『明德地区活性化計画書』

- 策定期間 平成 22 年 12 月 23 日（令和 3 年 4 月 1 日 第 3 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 基本理念 「心豊かで安全・安心な明德地区」

◆ 地域の課題

明德地区は、商業地区と住宅地区がまじりあい、アパートやマンションも多く、町内会未加入者の増加、定住者数の減少、さらに高齢化が進み、年々地区内人口が減少しつつあり、世代人口のバランスが取れていない。

また、高年齢になっても、働く方が増え、なかなか地域貢献活動に参加して頂ける方が少なく、基本理念である「心豊かで安全・安心な明德地区」を維持する為の、協力者の人集めに苦慮している。

◆ 主な活動内容

当地区は、令和 3 年度より第 3 次活性化計画が始まり、4 つの専門部会が設置され、この専門部会を柱として以下の各種事業等を展開している。

<専門部の活動>

○福祉・人づくり専門部

8 月 5 日(土)開催の納涼祭の運営など、地区住民の交流の場の提供、年間を通じて、他団体と連帯を図り福祉活動や人権問題に取り組んでいる。

○安全・安心専門部

地区総合防災訓練を 10 月 1 日（日）に予定しており、小学校グラウンド及び体育館を会場に消防訓練を実施する。他団体と連帯を図り、交通安全啓発の推進や、いつ起こるかわからない災害等に備えている。

○健康・体育専門部会

地区住民の健康増進を図るため、4 月 2 日(日)に健康づくり推進委員会・体育会が主体となり、《ふれあいウォーク大会》ぐるっと川外～桜土手コースを参加数 105 名で実施、他にも年間を通してイベントを開催、地域住民の健康維持に努める。

○文化伝承・環境美化専門部

10 月 21 日(土)・22 日(日)開催予定の文化祭の運営とともに、年間を通して地域にある文化財の学習、花壇整備の実施、地域の環境について啓発活動などの推進をしている。

◆ 今後の計画

令和 3 年度より第 3 次活性化計画が始まり、5 つの専門部会より 4 つの専門部会に変更され、この専門部会を柱に協議会、各団体、組織・住民が協力しながら地域活動の充実・強化を図る。

- (1) 出会い、ふれあい、絆を大切にしたりより良い人間関係を作るとともに、地域ぐるみで青少年の育成と高齢者福祉の充実、人権教育等の推進を図る。（明德小学校卒業後でも地域活動に参加して頂く為の、めいとくメンバーズの促進等）
- (2) 住民が住み続けたいと思う地域の環境整備を促進し伝承文化を大切にしながら、地域と学校との連携を図る。
- (3) 健康で明るい地域づくりを目指し、住民が気軽に参加できるイベントなどを推進する。
- (4) 災害に強い地域づくりを目指すとともに、災害時における高齢者への支援体制を促進する。

会 長	西川 照夫	所在地	鳥取市行徳三丁目 705
事務局長	福田 睦史	TEL/FAX	0857-27-4585 / 0857-27-4589
設立年月日	平成 21 年 3 月 17 日	Mail	cc-fuso@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	885 世帯	HP	http://fuso-web.sakura.ne.jp/
組織構成	総務企画委員会、防災安全部、人権福祉部、体育健康部		

### 地域コミュニティ計画 『富桑まちづくり計画』

- 策定期間 平成 21 年 12 月 25 日策定（平成 22 年 1 月 27 日改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 2 月 12 日
- 基本方針 1996 年 6 月に制定された「富桑地区人権宣言」の趣意に基づき、「～交流・共感・共生～」の社会実現をめざし、地域の身近な課題解決に向けて全住民が結束する。
- 目 標 「交流、共感、共生のまち」
  - 1 健康でぬくもりのある優しいまち 2 歴史と文化を大切にするまち
  - 3 人権を尊重し、弱い立場の人を大切にするまち 4 安全で安心のまち

#### ◆ 地域の課題

町内会の未加入世帯が増加し、若年者と高齢者の住民間の交流が希薄になってきている  
地域課題に取り組むボランティアの育成（ボランティア活動の中心が高齢化している）

#### ◆ 主な活動内容

第 45 回地区大運動会 ※感染拡大防止のため中止  
2022 年度通常総会 感染症拡大防止のため人数縮小  
富桑小学校子ども相撲大会 10 月 20 日（木）の支援  
第 18 回富桑地区大文化祭 ※感染症拡大防止のため中止  
富桑地区 G G 大会 5 月 28 日（土）24 チーム 71 名  
富桑地区人権講演会 9 月 17 日（土）講師 下吉真二さん  
富桑地区防災訓練 ※感染拡大防止のため中止  
各種団体新春懇話会 1 月 8 日（日）  
まちづくりだよりの発行 3 月 15 日（水）配布（20 頁・オールカラー）

#### ◆ 今後の計画

2023 年度通常総会 5 月 12 日（金）  
第 46 回地区大運動会 5 月 27 日（土）  
第 27 回富桑地区グラウンドゴルフ大会の開催 6 月 10 日（土）  
富桑地区人権講演会 8 月 26 日（土）  
富桑小学校子ども相撲大会の支援 7 月 13 日（木）  
第 19 回富桑地区大文化祭 10 月 21 日（土）～22 日（日）  
富桑地区合同避難訓練の実施 11 月 19 日（日）  
富桑地区新春懇話会 令和 6 年 1 月  
広報紙「まちづくりだより」令和 6 年 3 月発行  
富桑地区防災リーダーの育成と研修会の実施  
防犯・交通安全・子ども見守り隊（不審者対策）の支援

会 長	鈴木 伝男	所在地	鳥取市青葉町三丁目 121-1
事務局長	入江 敏夫	TEL/FAX	0857-26-3997 / 0857-26-4018
設立年月日	平成 21 年 1 月 23 日	Mail	cc-jyohoku@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,121 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/johoku-1
組織構成	会長 1 名、副会長 4 名、事務局 2 名、会計 1 名、監事 2 名、委員 58 名		

### 地域コミュニティ計画 『城北まちづくり いきいきプラン』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標 元気で、楽しく、心地よく、住んでよかったと実感できる城北

#### ◆ 地域の課題

「自分たちの地域は、自分たちで創る」という住民ひとり 1 人の意識が重要ですが、若者世代の参画が少ない状況です。地域の将来を担う若い世代が地域に関わる機会が減ってきています。その一端は、健康長寿化によって、長期にわたって地域活動に参画する高齢者が増えた結果、役員が固定化し、活動内容が膠着化する要因となっています。若者世代が魅力を感じて、新規に地域活動に参画しにくい環境となり、悪循環を生んでいると考えられます。

また、地域に関心を示さない住民が増えた結果、地域にある「支え合いを目的とする共助団体」の活動内容や、困り事を解決するために“いつ”・“誰に”・“どこに”相談すればいいのか分からず、地域社会との関わり（繋がり）が出来る場所や、参加方法を知らない住民が増え、困ったときに孤立する要因にもなっています。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 孤立を防ぐ取り組み：『城北地区支え合いネットワーク』(保存版)作成

この事業は、困ったとき当事者を孤立させない取り組みです。困りごとを相談する場所や、地域に「話し愛・支え愛」のネットワーク（仕組み）・共助団体（自治連などの地縁団体や地区社協などのテーマ団体）の活動内容を「見える化」して、情報提供することを目的にしました。地域にある 2 3 団体の各種団体と行政機関である市・社会福祉協議会・地域包括支援センター等と連携協議会を立ち上げ、内容を検討して作成しました。

##### 事業② 地域行事をみんなで創り上げる喜びを味わう取り組み：納涼まつり

この事業は、地域が一体となって実施してきた“実行委員会方式”の事業の棚卸しの過程を通して、長年、イベントを牽引してきた世代と、次の地域活動を担う若い世代が、協力して企画・運営する取り組みです。委員会組織の業務内容を「規約」という形で「見える化」（明文化）し、小・中学校 PTA 役員を委員会の中核に据え、ボトムアップ方式でやり甲斐を実感できるよう運営しました。

##### 事業③ 豊かな人間関係と住みよい生活環境を築く取り組み：「あいさつ運動連携協議会」

この事業は、これまで個々の組織が単独で活動したり奨励したりしてきた「あいさつ運動」を、連携して事業化する取り組みです。このことによって、地域に一体感が生まれ、相乗効果と事業の成果が効率的に期待でき、地域コミュニケーションの活性化が図られると考え事業化しました。

#### ◆ 今後の計画

住民が一体となって地域課題を解決する取り組みを、優先順位をつけて展開します。共助団体のベクトルを一つに纏めたり、各種団体の事業（活動）の狭間にある課題を掘り起こしたり、立場の違う誰もが「いいね！」と感じるまちづくりの輪を創っていきます。具体的には、事業の棚卸しの過程を通して、事業内容を可視化し、地域活動に誰もが無理なく関わられるような仕組みを、みんなで創りたいと考えています。

会 長	福浜 隆宏	所在地	鳥取市覚寺 118
事務局長	本城 勝幸	TEL/FAX	0857-21-5393 / 0857-21-5409
設立年月日	平成 21 年 1 月 22 日	Mail	cc-nakanogo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	約 1,487 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nakago-1
組織構成	伝統文化部会、環境美化部会、健康福祉部会、世代交流部会、総務広報部会		

### 地域コミュニティ計画 『中ノ郷地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期 平成 21 年 7 月 27 日
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- 目 標 「地域の自然や文化に誇りをもち、人が輝く活気あふれるまち」
  - ① 伝統文化の継承・発展・創造 ②健康・安全・福祉の充実 ③世代間交流の推進

#### ◆ 地域の課題

- ・住民の高齢化や独居老人の増加等に伴い、移動手段や社会参加の機会の確保に支障が生じてきている。
- ・充実した地域活動を実施する上で必要な要素となる町内会加入率が低下傾向にあり危惧されるところである。
- ・中ノ郷地区は近年になって新しく開発された住宅団地が多く、地域内に多くの危険地域指定場所もある。

#### 事業 1 5 大事業の実施

中ノ郷ふるさとづくりの目標「地域の自然や文化に誇りをもち、人が輝く活気あふれるまち」の体現に向けて、5つの事業(運動会、納涼まつり、しゃんしゃん傘踊り、敬老会、中ノ郷まつり)を実施している。ここ3年間は、コロナ禍に伴って事業の中止や一部変更しての実施を余儀なくされたこともあったが、今年度からはコロナ禍前の方法に戻して実施する予定としている。各事業の実行委員会は、地区各種団体との連携を図りながら地域一体となって取り組んでいる。例年、各事業の住民の参加者も多く大いに盛り上がっている。



#### 事業 2 地域の歴史や文化遺産の伝承

「さい鳥刺し」「獅子舞」「中ノ郷音頭」など地域に伝わる伝統芸能の継承に取り組んでいる。運動会や納涼まつり、敬老会、中ノ郷まつり等の機会を利用してそれらの伝統芸能の継承活動を発表する機会としている。また、地域の老人福祉施設を訪問し、伝統芸能を披露するなどして入居者との交流にも努めている。

#### 事業 3 防災意識の向上と地域防災対策

近年になって土地開発された住宅団地が多い地域である。地域内には急傾斜地、河川氾濫や山地災害などさまざまなハザードがある。これまで大きな災害は発生していないが、突如としてやってくる災害への防災対策が急務となっている。地区公民館に地域防災の専門家が配置されたことを契機に、地域の自主防災組織が中心となり関係団体と連携を図りながら住民の防災意識の向上や防災対策を始めた。

#### ◆ 今後の計画

- 5 大事業(運動会、納涼まつり、しゃんしゃん傘踊り、敬老会、中ノ郷まつり)は、必要に応じてコロナ感染予防対策を講じながら、コロナ禍前と同様の事業の内容となるよう企画していく。また、実行委員会を組織して多様な意見を活かし、事業の実施を通じて地域住民の一体化と地域の活性化につなげていく。
- 地域の豊富な歴史的事象や文化遺産についての情報提供、古くから地域に伝わる伝統芸能の継承活動などを通じて、住民が地域のよさを感じ、地域を愛する心情を醸成する。
- 住民の防災意識の向上や地域に根付いた防災活動の実施に向けて、自主防災組織を中心に着実に推進していく。

会 長	新 潤一	所在地	鳥取市卯垣五丁目 57
事務局長	高須 広海	TEL/FAX	0857-24-2542 / 0857-24-2546
設立年月日	平成 21 年 11 月 17 日	Mail	cc-inabayama@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,442 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/inaba-1
組織構成	総務・広報、安全・防災・防犯、健康・福祉、生涯学習・人権・青少年健全育成、環境美化・むらづくり会		

### 地域コミュニティ計画 『稲葉山地区まちづくり計画』

- 策定期間 平成 23 年 6 月 10 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 明るく・住みよい 活力ある稲葉山

#### ◆ 地域の課題

当地区だけではなく、新型コロナウイルス感染症で 3 年間地域の活動が停滞しました。高齢化も進んでおり、今後どのように活性化していくかが課題となっています。また、小学校、地区公民館など施設の老朽化なども課題となっています。

#### ◆ 主な活動内容

地区自治会から引き継いだ「ふれあい大運動会」、「敬老会」、「ふれあい文化じげ祭り」を主事業として実施し、明るく・住みよい・活力のある稲葉山地区を目指して活動しています。さらに「にぎわい・ふれあい」をテーマに米作り体験、野菜作り、歌おう会、カラオケ会、グラウンドゴルフ、ゲーム、ウォーキングなどに事業拡充しています。

また、地域住民の生命・財産を守るために地域の総合的な防災体制の整備が重要であるとの認識から、防災資機材の拡充、鳥取市防災リーダー育成、防災体制の充実など、地区としての自主防災力向上に努めています。その他、地区の各種団体と連携をとり、人権啓発、社会福祉、青少年健全育成、健康づくり、交通安全などにも積極的に取り組んでいます。

#### ◆ 今後の計画

- 5月 農・住いきいき交流会（田植え体験、野菜苗植付け）
- 5月 ふれあい大運動会
- 7月 農・住いきいき交流会（野菜収穫）／ウォーキング／ミニ運動会
- 8月 子どもと大人のふれあい事業（夏休みお楽しみ）
- 9月 地区敬老会
- 10月 ふれあい文化じげ祭り
- 10月 農・住いきいき交流会（稲刈り、脱穀体験）
- 10月 グラウンドゴルフ大会
- 11月 地区防災訓練
- 1月 子どもとおとなのふれあい事業（昔遊び）
- 2月 親睦ゲーム大会

会 長	山添 英明	所在地	鳥取市立川町六丁目 174
事務局長	松本 正彦	TEL/FAX	0857-22-5621 / 0857-22-5673
設立年月日	平成 20 年 12 月 12 日	Mail	cc-iwakura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,939 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/iwa-1
組織構成	総務・広報部、防災・防犯部、健康福祉部、生涯学習部、環境美化部		

### 地域コミュニティ計画 『岩倉地区まちづくりプラン 2010』

- 策定期間 平成 22 年 5 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 1 福祉・防災・安全の充実 2 地域住民交流の発展 3 伝統文化の継承・発展

#### ◆ 地域の課題

高齢化は自然なことなので、出来ることが大事だと思う中、各種団体・町内会の役員においても、新しい取り組みが必要である。住民同士の交流が大切である。地区の行事等に参加していただけるよう、声かけ・広報に取り組む必要性を感じる。

#### ◆ 主な活動内容

##### (1) 福祉、防災・安全の充実のための活動

- 岩倉小学校児童の登下校の安全確保（保護者や地域のボランティアによる見守り活動）
- 岩倉小学校放課後児童チャレンジ教室（地域ボランティアによる学習支援、見守り、世代間交流）
- 防災訓練の実施（鳥取市自主防災活動アドバイザーによる講演会、避難訓練）
- ふれあいグラウンド・ゴルフ大会の実施
- ふれあいデイサービスの実施（健康チェック、健康体操、講演会、高齢者家庭への配食と安全見守り活動）
- 子ども食堂の推進

（貧困家庭や一人での食事を余儀なくされている子どもたちに、子ども食堂への参加を呼びかけ、交流を深めていく）

##### (2) 地域住民交流のための活動

- 文化祭の実施（作品展示、芸能発表等）
- 年末もちつき大会の実施（臼・杵・せいろでのもちつき体験、地域住民の交流）
- 岩倉を元気にする講座(12 回/年 有識者を講師に迎えて岩倉の魅力を深掘りする)

#### ◆ 今後の計画

- (1) 岩倉小学校児童の登下校の際のボランティアによる見守り活動（毎日）
- (2) 子ども食堂（毎月第 2, 第 4 水曜日：きりん子ども食堂）
- (3) 地域の防災・防犯活動として、各種団体による青パトの巡回（週 2～3 回）
- (4) ふれあいグラウンド・ゴルフ大会（令和 5 年 6 月 4 日 岩倉小学校グラウンド）
- (5) 世代間交流事業（令和 5 年 6 月 19 日 岩倉小学校体育館）
- (6) 高齢者対象のふれあいデイサービス（年 4 回程度）
- (7) 防災研修会（令和 5 年 9 月 10 日 避難訓練、炊き出し訓練、防災講演会）
- (8) 健康ウォーキング（令和 5 年 9 月 30 日）
- (9) 岩倉を元気にする講座（年 12 回）
- (10) 文化祭（令和 5 年 10 月 22 日 岩倉地区公民館・体育館）
- (11) 年末もちつき大会（令和 5 年 12 月 17 日 岩倉地区公民館・体育館）
- (12) クリスマスコンサート（令和 5 年 12 月 24 日 岩倉地区体育館）

会 長	山根 誠吾	所在地	鳥取市吉成二丁目 5-22
事務局長	鈴木 洋志	TEL/FAX	0857-26-3981 / 0857-26-4002
設立年月日	平成 21 年 3 月 25 日	Mail	cc-mihoa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	5,475 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/miho-1
組織構成	—		

### 地域コミュニティ計画 『美保まちづくり計画』

- 策定期間 平成 21 年 11 月 26 日
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- 目 標 ふれあい豊かな住みよい美保

#### ◆ 地域の課題

高齢化率の上昇と高齢者就業率の高まりによって、自治会をはじめとして各種団体の後継者選びが難しい状況となっています。特に町内会役員は会長以下 1 年任期の輪番制となっている町内会がほとんどで、今まで積み上げてきた町内会活動のノウハウの継承が十全に行えないなど、長期的な視点での自治活動が難しい状況にあります。また、地区内のマンション等集合住宅が増えるに従い、町内会への加入率が低下しており、各種の取り組みに支障が生じつつあります。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①「防災のまちづくり」の取り組み

本地区は、千代川、大路川、山白川、新袋川等の河川に囲まれ、水害リスクの高い地域です。そのため、地域の活動の最重要課題は「防災」となっています。

平成 26 年度には、鳥取市と災害時の協定を結んでいる徳島市応神コミュニティ協議会を訪問し、防災の視点から研修しました。翌平成 27 年度には美保地区の防災マップ（「大雨に備えて」）を作成し、全戸に配布して防災意識の涵養に役立てました。その結果、防災マップを活用した町内会の防災訓練が活発になってきました。最近では避難スイッチに取り組む町内会もあります。

水害リスクの高い地域特性に対する住民の意識格差があり、それをどう埋めていくかが今後の課題と言えます。

##### 事業②「健康寿命を延ばす」取り組み

健康や長寿への取り組みは地域社会の持続性の点でも重要な課題だと考えています。認知症予防や寝たきりにならない生活を創造するために、啓発活動に取り組むとともに、e-スポーツを取り入れたクラブ・サークルの活動や異世代間交流活動に取り組むことにしています。

#### ◆ 今後の計画

これまで実施してきた地区の大きな行事がマンネリ化しないよう、内容の充実を図りながら「美保まちづくり計画」に掲げる「ふれあい豊かな美保」の実現に取り組むこととしています。

今後は、地域の地形的な特性を考慮して、水害や地震を想定した訓練に力を入れたいと考えています。特に、公民館活動とも連携しながら災害図上訓練を行い、地域住民の防災意識の高揚を図りたいと考えています。

また、鳥取市民体育館がリニューアルされ、水害時の避難所となることが予想されますので、地区をあげての避難訓練を計画しています。

今後さらに、「地域づくりは人づくり」の視点から人材養成にも努めながら誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

会 長	西尾 義昭	所在地	鳥取市叶 286
事務局長	清水 秀満	TEL/FAX	0857-53-4798 / 0857-53-4809
設立年月日	平成 20 年 12 月 13 日	Mail	cc-mihominami@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,944世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/minami-1
組織構成	地域防災力向上委員会、まちづくり計画見直し検討委員会		

### 地域コミュニティ計画 『美保南まちづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 5 月 23 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 住みよい・魅力ある美保南をめざして

#### ◆ 地域の課題

美保南地区は古くから水害に見舞われた地域であり、近年、記録的な集中豪雨が頻発する中で豪雨災害等に対応できる地域防災力の向上が必要となっています。また、市街化に伴って若者世代が増える中で、地区行事や各種団体活動などに若い世代の参画が少ないなど地域のつながりが希薄になっており、住民に行ったアンケートでも「つながり」や「交流」を求める声が多くなっています。

#### ◆ 主な活動内容

美保南まちづくり協議会では、協働のまちづくりを推進するために『美保南まちづくり計画』に掲げる下記 8 つの基本目標を目指して活動しています。

- ①安全・安心なまち
- ②環境に優しいまち
- ③健康・福祉のまち
- ④子どもを育むまち
- ⑤高齢者が集うまち
- ⑥教育・文化のまち
- ⑦ふれあいと交流のまち
- ⑧活力と潤いのあるまち

##### (1) 安全・安心なまちづくり

災害時に速やかに対応できるよう、自主防災組織の強化に向けた人材(防災リーダー)の育成と資機材の整備を行うとともに普段から災害に対する心構えを知っていただくため、防災訓練等を通して住民の防災意識の向上に取り組んでいます。

防犯面においては、日々子どもたちが安全に登下校できるよう子ども見守り隊(南っ子まもるんじゃー)を結成して、子どもを地域で見守る活動を行っています。令和 3 年度から日本郵便株式会社の協力で配達・営業中における見守り活動も行っています。

##### (2) こどもを育むまちづくりの推進

地域の将来を担う子ども達に自らの人生を切り開いていくための資質・能力を身につけてもらうため、学校・家庭・地域が連携して取り組む体制づくりを進めており、「子どもの居場所づくり」として、小学生を対象とした学習などのサポートを行う「夏休みサマースクール」を開催し、地域・学校・若者(大学生)と一緒に作るまちづくりを進めています。

##### (3) 協働のまちづくりの推進

協働のまちづくりの推進には、地域コミュニティの形成が不可欠であり、毎年地区 4 大行事(運動会・納涼祭・敬老祭・文化祭)の開催の他、小学校を核とした地域づくりを進めるため、学校にコミュニティルームを設け、地域と小学校との連携の強化と住民相互のふれあいと交流を図っています。

#### ◆ 今後の計画

令和元年に住民に行ったアンケート結果をもとに、新しい時代に沿った第二次計画および若い世代の意見が反映できるような現状の組織についても見直しを進めます。

また、地域が「つながる」をテーマに①地域防災力の向上、②防犯活動の推進、③健康と福祉のまちづくり、④学校と地域の連携、⑤地域コミュニティの推進に係る取組を進めてまいります。

会 長	若松 博康	所在地	鳥取市桜谷 162-6
事務局長	稲田 宗万	TEL/FAX	0857-24-9033 / 0857-24-9066
設立年月日	平成 21 年 4 月 1 日	Mail	cc-omokage@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,950 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/omokage-1
組織構成	—		

### 地域コミュニティ計画 『面影地区地域コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 22 年 6 月 17 日
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 「笑顔あふれるまち面影」を目指して
  - 1.生活環境の整備充実
  - 2.安全安心の防災対策と災害時の対応強化
  - 3.交通事故防止と防犯等の安全対策
  - 4.地域の健康増進と福祉の充実
  - 5.地域の歴史と伝統の継承

#### ◆ 地域の課題

- 1 地域住民の高齢化と少子化が進んでいる。
- 2 役員人事等、町内会（15 町内会）の運営が困難。体育会等の各種団体についても同様の状況が見られる。
- 3 コロナ禍で各種事業等が中止となり、地域全体の連帯意識が希薄となっている。
- 4 面影山の歴史及び地域行事の伝承等の意識が低い。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 小中学生と地域住民の交流事業

まちづくり協議会・自治会・小中 PTA が中心となっておもかげフェスティバル・面影山ウォークを開催し、世代間交流に取り組んでいる。

##### 事業② 自主防災訓練等の実施

1 5 町内会すべてに防災会が設置されており、毎年の地区防災訓練では多くの住民の参加のもと、避難所運営訓練等に取り組んでいる。また、非常食等の備蓄についても積極的に推進している。

#### ◆ 今後の計画

- ① 安全安心の防災対策
- ② 地域の歴史と伝統の継承
  - ・面影山遊歩道保全事業
  - ・面影音頭の伝承
- ③ まちづくり協議会だより（広報紙）の発行
- ④ 自治会との共催事業
  - ・面影山ウォークの開催
  - ・地域の健康増進を目的としたグラウンドゴルフ大会
- ⑤ 地域の子どもは地域で見守り育てる事業
  - ・サマースクール(小学生対象)の開催
  - ・面影フェスティバルの開催

会 長	高見 則夫	所在地	鳥取市八坂 365-2
事務局長	竹内 英則	TEL/FAX	0857-53-2259 / 0857-53-2269
設立年月日	平成 21 年 1 月 19 日	Mail	cc-kurata@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	602 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kurata-1
組織構成	総務部、福祉部、保安部、同協部、体育部、公民館部の 6 部体制		

### 地域コミュニティ計画 『倉田地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 26 年 6 月 25 日
- 支援宣言 平成 26 年 9 月 25 日
- 目 標 1：ふれあい豊かなまちづくり
- 目 標 2：健やかにいきいき暮らせるまちづくり
- 目 標 3：環境にやさしい美しいまちづくり
- 目 標 4：安心で安全なまちづくり
- 目 標 5：文化をはぐむ人権尊重のまちづくり

### ◆ 地域の課題

他地域と同様に倉田地区でも地域の高齢化が課題となっています。一人暮らしの家庭も増加しており、老々介護の問題、地域での見守りなどの社会福祉の面で重要性が増しています。また、町内会、地域の各種団体の役員を受ける人を見つけることが困難になっています。世代間の溝が深まり、コミュニケーションが取りづらくなっています。

### ◆ 主な活動内容

地域づくりは、昭和 43 年に結成された自治会を母体として、総務部（区長会）、福祉部、保安部（消防・交通安全協会）、同協部、体育部、公民館部の 6 部が連携した活動を進めています。

特に教育面では、全戸組織の教育後援会、安全ボランティア活動、公民館を中心に学校週 5 日制に伴う行事を実施しています。地域の各種行事に積極的な参加を促し、行事を通して、地域の伝統文化や人と人の繋がりを大切にする世代間交流を図るなど、次世代を担う子どもたちの育成に努めています。また、文化面では、毎年倉田地区文化祭を開催して、地域住民の参加とともに保育園、小学校、中学校からも作品の出展があり、みんなの文化祭となっています。地域内には多くの郷土芸能が伝承されており、積極的な参加促進や、文化財の保存の意識の向上等の文化振興、さらに安全安心対策として、交通安全活動・消防団活動・不法投棄監視活動と自主防災活動です。

各種事業を通じて、各団体が一丸となり、住民の積極的参加で人と人の繋がりの大切さを原点に、協働のまちづくりに取り組んでいます。早い段階でコロナが終息し通常の活動ができることを祈っております。

### ◆ 今後の計画

- (1) 安心で安全なまちづくりを目指し、防災倉庫（資機材）の充実を図ります。
- (2) 学校と地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めます。
- (3) 社会福祉を充実し、独居老人への食事サービス・声かけ等により明るい地域づくりを図ります。
- (4) 自主防災会の組織強化を図り、安全・安心のまちづくりに努めます。
- (5) あいさつ・声かけ運動を毎日の生活の中で実施します。
- (6) 集落内の道路、河川の一斉清掃を実施し、地域の自然と保護に努めます。
- (7) ゴミの不法投棄パトロールを徹底し、ポイ捨て・大型ゴミの不法投棄撲滅を目指します。
- (8) 倉田地区にはスポーツ広場・バードスタジアムがあり、年間 15 万人の方をお迎えしており、特に防犯・環境美化に地区を挙げて、気持ちよく楽しんでいただけるように取り組んでいます。

会 長	池内 和美	所在地	鳥取市下砂見 752-1
事務局長	中村 晴通	TEL/FAX	0857-55-0001 / 0857-55-0008
設立年月日	平成 21 年 3 月 24 日	Mail	cc-kando@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2 1 8 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kando-1
組織構成	—		

### 地域コミュニティ計画 『神戸地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標 1.活力のある地域づくりをめざす
- 2.安心・安全な地域づくりをめざす
- 3.みんなで支え合う福祉の地域づくりをめざす
- 4.生活環境の整備をめざす
- 5.明日を担う人づくりをめざす
- 6.美しいふるさとづくりをめざす

### ◆ 地域の課題

神戸地区は東西に約 10 キロの細長い地域に 7 集落が点在する、少子化・高齢化の典型的な山間地区です。小学校の閉校・路線バスから、代替タクシーへの変更・人口減少など、地区全体が静かになりました。賑わいを取り戻すには、地域づくり協議会を中心とした、各種団体の活動の強化と、イベントや奉仕活動開催等による地区全体の一体感を作り出すことが大切です。

### ◆ 主な活動内容

- 例年「かんど夏まつり」と「地区運動会」を開催し、地区民同士の親睦と一体化を進めて来ました。令和 3 年以降は新型コロナ禍の影響で中止になりましたが、「冬の祭典」はコロナ対策のため規模を縮小して開催しました。
- 文化祭を開催し、公民館事業で取り組んだ小学生の作品や、一般による自信作多数の展示を行いました。また、地域の農産物を展示するなど和気あいあいの交流を図りました。
- 公民館周辺の、さくら山やせせらぎ公園等の清掃や除草を行い美化活動を行っています。さくら山整備事業では、桜の苗木の下刈り作業と小学校跡の美化を行いました。
- 地区における活動状況を記載した「かんど地域づくり協議会」広報誌を発行する等広報活動に努めています。

### ◆ 今後の計画

#### (1) 活力ある地域づくり

「かんど夏まつり」「地区運動会」は小学校閉校に伴い、地区民主体の催事に方向転換を図ります。

「納涼祭」「冬の祭典（感謝の集い）」「神戸を語る会」を開催し、地域の結束を図ります。

#### (2) 安心・安全な地域づくり

大型化する自然災害に備えた対策と防災意識の向上に努めます。

#### (3) 支え合う福祉の地域づくり

独居老人への声かけ運動や社会活動参加を支援します。集落単位での健康推進運動を行います。

#### (4) 生活環境の整備

区長会を中心に道路や河川等の環境整備を進めます。

#### (5) 江山学園の子供たちとの交流を深め、地域を愛する人づくりをめざします。

#### (6) 美しいふるさとづくり

小学校跡・さくら山整備事業・せせらぎ公園整備事業の取り組みを継続します。

会 長	森田 松雄	所在地	鳥取市倭文 76-1
事務局長	中村 徹	TEL/FAX	0857-53-0404 / 0857-53-0417
設立年月日	平成 20 年 11 月 29 日	Mail	cc-yamato@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	243 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yamato-1

### 地域コミュニティ計画 『大和地域づくり事業計画』

- 策定期間 平成 22 年 12 月 13 日（平成 31 年 4 月 20 日 第 3 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 地域のつながりを大切に笑顔あふれる地域づくり  
（危険・不安のない安心・安全なまちづくり、地域のふれあいと「和」づくり、歴史文化の継承と保存）

#### ◆ 地域の課題

大和地区は高齢化と過疎化が年々進み、空き家が増加してきている。高齢化のみならず、若者の地域への興味関心が低く、地域行事への参加率も下がってきている。また、各種団体の役員を受けの人を見つけることが困難になってきており、団体の存続が危ぶまれる状態である。小中学生も含めた若者をいかに地域と結びつけるかが、地区及び集落の存続課題である。

#### ◆ 主な活動内容

高齢化と人口の減少が進む中、さらなる地域の活性化を目指すため、これまでの取り組みを踏まえて、組織を改め、第 3 期は輝き魅力のある地域づくり（危険・不安のない、安心・安全な住みよい、ふれあい「和」づくり）を目標として総合的なまちづくり事業を推進しているが、集落の存続が危ぶまれる現状では、若者を交え、今後の大和地区のビジョンを考えていく取り組みが必要であるので、世代を超えた「大和を考える会」（仮称）を立ち上げる取り組みをしていく。

令和元年度に設立した大和ふれあいタクシーの利用範囲を猪子・横枕集落のみではなく、大和地区全体に拡大していく取り組みを進めていく。

また、江山学園を地域の学校として教育活動を支援していくために地域人材の掘り起こしをしつつ、第 4 期計画策定への準備をしていく。

#### ◆ 今後の計画

大和地区内における各事業部活動の活性化と充実を図るために各種団体と連携し、多くの住民が参加する活動を増やしていきたい。

<令和 5 年度事業計画>

##### ・環境美化部（整備の実施）

公民館、体育館、公園、慰霊碑周辺の草刈りや植木の剪定等の環境整備、鴨尾城の整備

##### ・安全部（研修訓練の実施）

危機管理、防犯に関する研修会、避難支援者名簿・地図の作成、避難訓練（各集落ごと、地域全体）

防災時の組織編成（指揮連絡、役割分担他）、非常事態における対応訓練（救急救命講習会、炊き出し訓練等）

防災用具の整備、交通安全教室、県道 227 猪子国安線（横枕～猪子）に街灯設置

##### ・人づくり部

人権教育の推進（第 50 回千代ブロック人権・同和教育研究集会の開催）、文化祭、物づくり教室、歴史講座

##### ・健康運動部

大和地区体育祭(卓球、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、駅伝)・グラウンドゴルフ大会の実施、健康ウォーキング

地区体育館・グラウンド管理の充実（器具庫、用具の整備）、健康相談、集団検診、ふれあいデイサービス

##### ・大和ふれあいタクシー部

猪子・横枕・玉津地区の小中学生の通学と住民の通院や買い物等生活のための移動手手段の支援

公民館祭等公民館や各種団体の事業への参加者の輸送

会 長	坂本 美俊	所在地	鳥取市朝月 22
事務局長	半田 忠雄	TEL/FAX	0857-53-0173 / 0857-53-0246
設立年月日	平成 21 年 6 月 27 日	Mail	cc-mihob@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	778 世帯 1665 名	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mihob-1
組織構成	総合企画部、安全・安心部、子育て・教育部、健康・福祉部、農業・環境部		

### 地域コミュニティ計画 『美穂まちづくり計画』

- 策定期期 平成 23 年 3 月 31 日
- 目 標 お互いが助け合い、活力ある地域づくり  
いつもニコニコ、ピンピンと元気な地域づくり  
いつまでもふるさとの風景を美しく
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日  
安全で安心で事故、災害に強い地域づくり  
老いも若きも健康づくりで生き生きと

#### ◆ 地域の課題

##### ★組織基盤の見直し

結成以降 10 年以上経過した中で人・環境・事業等変化していることから、当初理念は尊重しながら、執行部の構成人数増員、組織基盤となる底辺の強化、見直しが必要

#### ◆ 主な活動内容

##### ○健康ウォークラリー（目的：老いも若きも健康づくりで生き生きと）

誰もが寝たきりにならない充実した生活が送れるよう、そして「生涯現役」の気概を持ち続けられるよう、健康づくりのために地区内を散策しました。特に今年は中学生とタッグを組み、地域の史跡をクイズ形式で楽しみながら世代間交流も図れました。

##### ○カフェサロンの継続（目的：高齢者の引きこもり防止、地区の活性化）※毎週水曜日・第 2 第 4 土曜日

カフェサロンに集うことで、地区に暮らすだれもがお互い顔見知りになり、気軽に話せる間柄になればつながりが深まり、お互いに隣人を気遣い、見守り・声かけ等ができ、その輪が広がることを期待して、地域の特性を生かしつつ継続して事業を行います。

##### ○美穂地区防災訓練（目的：災害に強い地域づくりをめざして）

地区自主防災計画書を策定し、計画に基づいた避難所運営訓練を実施しました。千代川の水位が上昇し、警戒レベル 3 「高齢者等避難」が発令され公民館に避難所を開設、各地区自主防災会・防災リーダー・消防団・公民館職員が連携し本部招集→避難所開設・要員招集→避難所設営→避難者受け入れ・避難所運営し、「誰が」、「いつ」、「どのように」、を全員で確認しながら取り組みました。終了後、問題点について今後どう改善していくか話し合いを行いました。

#### ◆ 今後の計画

- ◆ 活性化事業（広報活動＜広報誌・通信の発行＞・カフェサロンの継続＜談話室にサロンの継続＞）
- ◆ 世代間交流事業（地区住民集う会・文化祭）
- ◆ 健全育成事業（わんぱく塾の開催）（ふるさと散歩＜郷土の歴史・文化を学びながらの散策＞）（クリスマスイベント会）
- ◆ 健康づくり事業（ウォーキング大会及び食を楽しむ会）（地区住民対象の健康相談と健康講座）（ふれあい GG）
- ◆ 防災事業（地区総合防災訓練＜自分たちの命は自分たちで守ろうを目的＞・防災リーダーの養成及び増員・地区自主防災計画の具体化・各部落自主防災規約の制定・地区内巡回点検活動・防災マップ作成・啓発チラシの配布）（避難所運営訓練）（防災専門家による防災講演会の開催）
- ◆ 美化事業（通学路、遊休農地の草刈・不法投棄巡回パトロール・集う会、文化祭に協力）（注意喚起看板の設置）

会 長	加柴 茂	所在地	鳥取市古海 556
事務局長	谷口 雄史	TEL/FAX	0857-26-3982 / 0857-26-3985
設立年月日	平成 21 年 5 月 9 日	Mail	cc-taisho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,120 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/taisho-1
組織構成	会長他役員、委員、ワーキンググループメンバー		

### 地域コミュニティ計画 『大正地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 5 月 25 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標
  - 1 ほっと大正まちづくり協議会は、「安全で魅力ある住みよいまちづくり」を推進します
  - 2 地域住民の協力・共助の精神を高め、地域の一体化を図り団結力を強固にするとともに、甚大な自然災害の被災に備えた地域防災力の向上を主眼としています

#### ◆ 地域の課題

- ・自治会加入率が大正地区の全世帯数約 2,400 世帯の半数以下である現状と、既存の町内会においても町内会組織の存続が困難などの理由により町内会解散の動きも発生している
- ・住民の方々の高齢化などの理由により、近隣住民間の付き合いが疎遠となり、町内会を脱退されるケースが散見される
- ・町内会組織立上げが困難な理由に「地域とのつながりを持たない・持ちたくない」などが挙げられ深刻な課題となっている
- ・地域情報や防災活動などの情報が全世帯に浸透できず、地域内の課題への共有化や共助体制が困難な状況が発生

#### ◆ 主な活動内容

ほっと大正まちづくり協議会は、地区内の各種団体と協調・連携を図りながら、団体単独では取り組みにくい活動分野に重点的に、地域のつながりづくりと安全安心を主要なテーマとして活動を展開しています。

地域のつながりづくりを促進する事業として、運動会・夏まつり・スポーツ交流会・地域コミュニティ促進活動支援・いきいき地域づくり交流会・総合防災訓練などの事業を地域住民の皆様の協力で、盛り上がりのある事業を行ってまいりましたが、令和 4 年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の為、多くの事業中止や規模を縮小しての実施となりました。

特に地域と子どもたちのつながりを結び直す活動として夏休み期間中に「地域コミュニティ促進支援事業」により子ども会を中心とした地域の顔なじみづくりを促す事業を支援すると同時に、地域情報の発信について、次の三点の視点で地域のつながりづくりを目指す活動を始めました。

- ① 町内会・各種団体による活動の画像をまちづくり協議会に寄稿していただき「大正かわら版」に掲載して全世帯に発信する
- ② 大正地区に伝わる伝承や文化をとりあげて新しく住民となられた方々に伝える
- ③ 町内会に所属していない世帯を含めて地域の情報を全世帯に配布する活動を行なう

#### ◆ 今後の計画

ほっと大正まちづくり協議会は、安全安心なまちづくりのため地域のつながりづくりを再構築する必要があると考えています。特に町内会に所属しない世帯が半数を超えている現状に対して、まちづくり協議会事業の参加を町内会未組織エリアの方々を含めてより多くの方々に呼びかけ「地域に顔なじみを作る」活動を展開します。

また、新規事業として農産品の地元生産者の方と地域の方の心と心をつなぐ「大正あおぞら市（軽トラ朝市）」を企画実施して、より賑やかな地域コミュニティ交流事業として発展することを目指していきます。

併せてまちづくり協議会として例年実施してきた地域防災力向上のため訓練・研修や指導者育成も継続的に実施します。

会 長	福本 政男	所在地	鳥取市西今在家 207
事務局長	河田 恒儀	TEL/FAX	0857-53-0456 / 0857-53-0906
設立年月日	平成 21 年 3 月 15 日	Mail	cc-togo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	208 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/togo-1
組織構成	にぎわい創出部会、安心安全部会、ふるさと文化伝承部会、生活環境美化部会		

### 地域コミュニティ計画 『東郷地区むらづくり計画』

- 策定期期 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 「強い（防災力）地域づくり」「希望や活気あるむらづくり」「必要とされるむらづくり」

#### ◆ 地域の課題

- 東郷地区は各集落とも人口減少と高齢化が進み、集落や地域の団体などの役員候補が少なくなっている。
- 近年の気象状況の変化により、自然災害（山崩れ、河川氾濫等）のリスクが高まっていることから、防災体制の点検整備が必要。
- 地区の人口増の取り組み、若者が住みたいと思えるような取り組みを推進する。

#### ◆ 主な活動内容

にぎわいを取り戻そう、地区によるこんでもらえる事業をめざして活動しました。

##### ①地区をあげての事業

コロナ禍の影響もあり事業中止や縮小となっていました。その中で、地区の団体の協力を得て実行委員会を設置し、～東郷地区に少しでも元気をとりもどそう～という趣旨で、「ワクワクとっとり東郷花火大会」を実施しました。東郷小学校児童・高校ダンス部・傘踊り隊・ガイナマンの出演イベントのあと、夜空いっぱい広がる打上げ花火を満喫しました。地区の内外から多くの方の参加をいただきました。

##### ②専門部会事業

にぎわい専門部会では、「案山子づくり」を行い、作品は地区の公民館祭りに披露しました。安心・安全部会では公民館文化祭で、防災に関する講演会、同日近隣のため池ツアーを実施し、ため池の理解を深めました。

★地域の課題は山積していますが、まず、「できることを考え、まず一步を踏み出す」ことを大切に活動しています。

#### ◆ 今後の計画

「自分たちは、東郷地区で、どう暮らしていきたいのか」を常に話し合い、地域で目指す東郷地区を実現するための方向性を確認しながら進めていきたいと考えています。

そして、地区を挙げての事業や、4つの専門部会（にぎわい創出部会、安心安全部会、ふるさと文化伝承部会、生活環境美化部会）での事業について、それぞれの中で前年度を振り返りながら、まずできることから着実に取り組んでいく予定です。

今後も、コロナ感染症対策を徹底しながら、地区の方がふれあい楽しめる事業を工夫して実施したり、自助・共助による防災意識の向上をはかったりすることで、地区の方が求めている魅力ある東郷へと発展することを願って活動をしていきます。

会 長	花 田 均	所在地	鳥取市野坂 950
事務局長	加藤 修	TEL/FAX	0857-24-0604 / 0857-24-0622
設立年月日	平成 20 年 12 月 20 日	Mail	cc-toyomi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	274 世帯	HP	http://www.toyomi.info
組織構成	総務・広報、安全・防災・防犯、健康・福祉、生涯学習・人権、環境美化		

### 地域コミュニティ計画 『豊実まちづくり計画』

- 策定期期 平成 23 年 3 月 14 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実

#### ◆ 地域の課題

豊実地区は、高齢化及び定年後の就業率も年々高まっており、町内会や各種団体の役員確保が非常に困難な状況となっています。

コロナ禍の影響で各種事業が中止や制限を余儀なくされ、住民と地域との繋がりが希薄になってきています。世帯数住民の増加を望むも、市街化調整区域に指定されており、困難な環境となっています。

#### ◆ 主な活動内容

緑豊かで魅力ある住みよいまち豊実の願いのもとに、5つの専門部会で計画し、実践、実現につなげています。

- 総務・広報 : 協議会だより、広報誌等の発行、イベントの計画、芝グラウンド多目的工房管理、地区マップづくり
- 安全・防災・防犯 : 地区まつり防災フェスタ、防災訓練、研修会等開催
- 健康・福祉 : 地区運動会、地区まつり健康づくりイベント等開催、認知症等健康講演会開催、高齢者福祉研修会、敬老会事業、オレンジカフェ
- 生涯学習・人権 : 高齢者サポーター養成講座、人権研修会、講演会開催、世代間交流の集い協力
- 環境美化 : 豊実グラウンド芝生管理、豊実花いっぱい運動事業、環境美化事業開催

#### ◆ 今後の計画

新型コロナウイルスの影響で、多くの事業が中止や制限を余儀なくされる中、事業内容を絞って感染防止を心掛けながら実施していきたいと思えます。また、コロナウイルスに感染された方への誹謗・中傷や差別を無くし、同時にウクライナの平和を支援する「シトラスリボン」の運動を続けたいと思えます。

- ・各集落の自主防災会が防災リーダー養成に取り組む等、組織の強化と地区内の危険個所の共通の認識・対応など災害に強い地域づくりを進める。
- ・地域の歴史的遺産・伝統・文化に対する理解を深めるマップなどの作成とウォーキング大会を行い、ふるさつを見つめる機会をつくる。
- ・地域住民が気楽にボランティア活動やサロン活動で交流を深めながら、事業に参加できる機会や場所を増やし、人づくり・つながりづくり・地域づくりに努める。

地域住民との絆を深め、自治会や各種団体との連携を取りながら、活動を進めていきます。

会 長	椿 重 雄	所在地	鳥取市松上 167-1
事務局長	竹内 泰二	TEL/FAX	0857-56-0005 / 0857-56-0011
設立年月日	平成 21 年 1 月 24 日	Mail	cc-meiji@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	328 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/meiji-1
組織構成	○役員会 ○総務会 ●生涯学習コミュニティ部 ●健康福祉人権部 ●安心安全部 ●自然環境部地域活性化部		

**地域コミュニティ計画 『明治地区地域コミュニティ計画』**

- 策定時期 平成 22 年 3 月 20 日（平成 31 年 4 月 21 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標
  - 一人ひとりに密着した活力ある地域づくり
  - 健康・福祉と人権尊重の地域づくり
  - 安心安全な地域づくり
  - 自然環境と特色を活かした地域づくり

◆ **地域の課題**

360°GreenView。明治地区は山々に囲まれ、市街地から 10 km 以上離れている。人口減少と、少子高齢化が進み、地域の産業である農業が衰退し、伝統文化の継承が難しくなり、人々の交流が希薄化してきている。人々がアイデンティティを高め、交流を活発化し、地域の活力を高めることが求められている。

◆ **主な活動内容**

明治郷づくり協議会の新組織のもと、一括交付金を受け、住民主体の地域づくり事業を実施

- 地域産業の振興と住民の交流を目的に「軽トラマルシェ」を月 1 回、年間 7 回開催
- 地元で採れた野菜を使ったり、野花を飾ったりして「地域食堂」を実施
- 地域住民の健康づくりと交流を目的に「森林ウォーク in 安蔵 x」
- 野外学習として他地域の見学・体験学習や歴史・文化を学習
- 地区防災訓練
- 地区の主要道路を「コスモロード」にする事業
- 明治地区の三大イベント「小学校と地区合同の大運動会」「夏祭り」「文化農業祭」の開催
- 「明治地区の地形学習」、「明治地区の植物講座」、「明治地区の鳥講座」、「獅子舞講座」など明治のすばらしさを知る学習
- 地区の 2 校に通う児童が一緒になって過ごす「お泊り公民館」など各種の子ども育成事業
- 社会教育関係の講座・教室など約 50 事業を実施

◆ **今後の計画**

○「明治郷づくり協議会」はそれぞれの 4 部会で、住民が希望する事業を行う。

計画 ⇒ 実行委員会 ⇒ 実施 ⇒ 計画

○地域をテーマに、自然や歴史、人材、材料を活かした事業を組み、地域づくりを進める。

○地域住民の交流が促進される事業を組んでいきたい。

会 長	竹内 房男	所在地	鳥取市布勢 543-3
事務局長	山根 尚一	TEL/FAX	0857-28-1192 / 0857-28-1267
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-matsuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,057 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/matuho-1
組織構成	総務・広報部、生活・安全部、福祉部、体育部、生涯学習部		

### 地域コミュニティ計画 『松保地区コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 21 年 12 月 8 日
- 支援宣言 平成 22 年 2 月 12 日
- 目 標 地域に誇りを持ち、皆が相互に支え合い活力ある安全・安心な地域づくりをめざす

#### ◆ 地域の課題

松保地区においては、町内会長が 1 年で交代する町内会が大多数となり、地域の役員等の担い手不足も深刻化している。中長期的に自治活動に携わる地域リーダーの育成が喫緊の課題となっている。また、少子高齢化に伴い、地域の伝統芸能や文化の継承者不在も大きな課題である。さらには、地域住民の価値観の多様化やプライバシー意識の高まりから住民同士の人間関係が希薄化しており、特に災害時の共助が以前に比べ困難なものになってきている。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①：地域の伝統芸能継承事業

現在松保地区では、7 集落で麒麟獅子舞が舞われているところだが、後継者不足からその存続が危ぶまれている。そこで、地域の伝統芸能である麒麟獅子舞を次世代に継承していくことを目的に、まず麒麟獅子舞を広く地域住民に知ってもらうべく、地区公民館の学習発表会の場において麒麟獅子舞を披露した。当日は、布勢集落の 20 歳代から 60 歳代の 6 名が猩々、頭、笛、太鼓などの役で本舞を披露した。参加者は、迫力ある舞を間近で見ると伝統芸能のすばらしさを再認識していた。

##### 事業②：高齢化に伴う認知症対策事業

松保地区においても高齢化が進んでおり、地区内 65 歳以上の高齢者のうち 15%の方が認知症というデータが出ている。もはや認知症は他人事ではなく、自分自身や家族が認知症になる可能性もある。そこで、認知症を正しく理解することを目的に、鳥取市中央包括支援センターの保健師を講師に招き「認知症になっても安心して暮らし続けられる地域を目指して」という演題で講演会を開催した。認知症の原因や早期対応の大切さ、自分らしく生きるための認知症との共生のあり方等について理解を深めた。

##### 事業③：災害対策備品の充実

近年、自然災害が多発しており、日ごろからの備えが重要になっている。毎年防災備品を充実させているが、昨年度は災害時に一番重要なトイレ関係の「簡易トイレ」「プライベートテント」をはじめ「災害多人数用救急箱」「ワイヤレスマイク」等を購入した。

#### ◆ 今後の計画

防災や福祉、伝統文化の継承など地域課題の解決に向けて地域住民や各種団体と連携・協力しながら活動をしていく。また、アフターコロナを見据え地域住民の交流を深める「ふれあい運動会」や「パフォーマンス発表会」などの事業も再開していく。

- 総務・広報部：①まちづくり先進地視察研修（9月）②広報紙「かがやき」年 2 回発行（9月・3月）
- 生活・安全部：①松保地区防災訓練（10月）
- 福祉部：①福祉研修会（6月）②福祉施設視察研修（10月）  
③男性料理教室（2月）④くつろぎカフェ（毎月 2 回程度）
- 体育部：①「ふれあい運動会」（9月）
- 生涯学習部：①地域の伝統芸能「麒麟獅子舞」披露（9月）②地域の宝を巡る（10月）  
③人権講演会（11月）④パフォーマンス発表会（11月）

会 長	林 喜久治	所在地	鳥取市吉岡温泉町 894-14
事務局長	西浦 日出夫	TEL/FAX	0857-54-0804 / 0857-54-0811
設立年月日	平成 21 年 5 月 8 日	Mail	cc-konan@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	587 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/konan-1
組織構成	活性化委員会、安全安心委員会、環境福祉委員会、歴史文化委員会 つながり委員会、記録保存委員会		

**地域コミュニティ計画 『湖南地区地域コミュニティ計画』**

- 策定期間 平成 22 年 2 月 15 日（令和 4 年 3 月 第 2 次計画改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標 人とひとがつながり 生き生きとした めくもりのある湖南

**◆ 地域の課題**

「過疎・少子高齢化」が進み、地域組織の担い手不足に伴い、事業の在り方が従来通り出来なくなってきている。組織、事業の再編、再考が必要である。また、高齢化に伴い、買い物や医者に行けない人が増えており、公共交通、共助交通等の交通インフラの整備が必要である。

そのために、若い世代の地域参加を含む「地域コミュニティ」を深めていく必要がある。

**◆ 主な活動内容**

令和 3 年度に策定した「湖南地区地域コミュニティ計画」に沿って事業を展開している

1. 活性化委員会 地域の「湖南まつり」の開催と「地区文化祭」への参画
2. 安全安心委員会 登下校時の見守り活動及び地区防災活動への協賛
3. 環境福祉委員会 有償ボランティア組織立ち上げ検討会開催と旧湖南中学校校舎美化活動の推進
4. 歴史文化委員会 年 2 回の湖南ウォークの開催及び箕上山トレイルロード整備と地区の歴史遺産の調査
5. つながり委員会 世代間交流事業、ワークショップの開催
6. 記録保存委員会 地域行事の撮影・記録保存
7. 湖南まちあるきマップ作成委員会を立ち上げ、地区内外に湖南の魅力を伝えるマップ製作
8. 公民館祭りを「こなん文化祭」とし、まちづくり協議会主導で文化祭を開催
9. 各種団体事業調整会議を実施し、地区内行事の調整を図る

その他、自治会（まち協）の活動を、随時、地域住民へお知らせする広報として、毎月の地区公民館のお知らせ「自治会通信」、また年 3 回発行の「こなんだより」に掲載しています。

**◆ 今後の計画**

まちづくり協議会の大きな事業として、全世代が関わる「湖南まつり」「こなん文化祭」を実施し地域の活性化を図る。

委員会の活動として、朝のあいさつ運動、放課後防犯パトロール等で安全安心なまちづくりを進める。

また、年 2 回の湖南ウォークで地域の歴史遺産を訪ね地域資源の活用と整備を進める。そして、地域の現状や文化的行事等を映像として記録し公開することで後世へと継承していく。

地域課題の解決のために、共助の面から、ボランティア活動ができる団体組織の検討を進めていく。

会 長	山本 孝久	所在地	鳥取市伏野 1986-32
事務局長	山本 英世	TEL/FAX	0857-59-1147 / 0857-59-1150
設立年月日	平成 20 年 8 月 30 日	Mail	cc-suetsune@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	2,470 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/suetsune-1
組織構成	幹事会・全体協議会		

### 地域コミュニティ計画 『未恒のまちづくり計画』

- 策定期間 平成 24 年 1 月 28 日 （平成 27 年 5 月計画改訂）
- 支援宣言 平成 24 年 8 月 27 日
- 目 標 ～魅力ある未恒のまちづくりを目指して～
  - 1) 安心・安全なまちづくり
  - 2) 健康福祉と人権尊重のまちづくり
  - 3) 人と人がふれあえる活力のあるまちづくり
  - 4) 快適で住みよく環境にやさしいまちづくり
  - 5) 自然環境や観光資源を活かしたふるさと再発見のまちづくり

#### ◆ 地域の課題

大規模化・複雑化する自然災害や未知の感染症への対応など様々なりスクに対し、迅速かつ適確に対応するため、危機管理体制の強化が求められています。また、長年の取り組みの成果でボランティア人口は拡大しつつあるものの、生涯学習事業への参加者は十分とは言えない状況であり、より多くの地域住民に関心を持ってもらえる魅力ある事業計画の研鑽と、地域を活性化するための人材確保・人材育成のため、より多くの住民が事業に参加できるような工夫が必要です。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①：地区大運動会・地区文化祭の実施

4 年ぶりに行われた小学校と合同の運動会では地域愛を感じる場面があったり、昨年行われた文化祭でも協力して準備をすることで地域を超えて情報交換が進んでいたり、交流が促進されている様子に継続的な実施が必要であると感じています。文化祭は多数の模擬店や催事、教養講座を中心とした作品展示や芸能発表で日ごろの成果を披露していただいたり、大変な賑わいです。

##### 事業②：自主防災活動の充実

各町内会に一人以上の防災リーダーを確保することを目指し、有事に備え「危機管理マニュアル」を毎年見直ししつつ、内容のブラッシュアップを図っています。今年度は 11 月に指定避難場所である小学校での地区合同避難訓練を計画しています。

##### 事業③：地域学校協働活動

小学校と連携して、「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」につながる事業を展開しています。特に「わくわく交流ひろば」は、学校・家庭・地域がつながりあい、温かい目で子どもたちの成長を見守る取り組みとして 18 年目を迎えました。令和 4 年度に設置された「学校カフェ」では、活動の拠点として非常に活用が進み、多くのボランティアが生き生きと活動しています。

#### ◆ 今後の計画

地域の 3 大事業を「地区運動会」「地区文化祭」「地区防災訓練」と定め、年間を通して地域住民の交流促進や協働体制づくりを進めています。長年の取り組みの成果で、地域住民による運営・実行委員会体制が整備されつつあり、地域住民の参画を進め、意見を事業計画に反映していることで地域の活性化につながっていることから場を提供する意義を感じています。ただし、事業実施については地域住民からの期待は高い反面、負担感を軽減する運営方法等、取り組み方について検討の必要もあると考えています。

また、「地域学校協働活動」も地域づくりの拠点として、さらなる内容の充実とボランティアの拡充に努めたいと思っています。

会 長	芥島 寿美	所在地	鳥取市賀露町南五丁目 1718-3
事務局長	美川 裕教	TEL/FAX	0857-50-0456 / 0857-50-0460
設立年月日	平成 21 年 9 月 13 日	Mail	karojichi@circus.ocn.ne.jp
世 帯 数	2,121 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/karo-1
組織構成	総務、みんなで住みよいまちを考えるグループ、みんなの元気を考えるグループ、みんなの幸せを考えるグループ、みんなで「たくましい賀露健児」を育てるグループ		

### 地域コミュニティ計画 『賀露地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期 平成 26 年 3 月 1 日
- 支援宣言 平成 26 年 5 月 21 日
- 目 標 ～みんなでまちづくり～  
健康で明るく魅力あふれる「まちづくり」を目指す賀露

#### ◆ 地域の課題

昔から住居がある賀露地区は、住民の高齢化が進み町内会運営が難しく、新興住宅地区との差があり、元気のあるまちづくりに問題が生じています。特に小学生がいない町内会もある次第です。町内会編成も考えてみますがなかなか大変です。

また、車の入らない賀露地区の一部では空き家が増えており、倒壊の恐れがある住居も多くあることから、町内会としても対策を考える時期にきています。

#### ◆ 主な活動内容

賀露地区を「健康で明るく魅力あふれるまち」にするため、平成 26 年 3 月策定の「賀露地区コミュニティ計画」の基本方針に基づき下記 7 項目に取り組みました。

1. 「住みよいまちを考える」グループでは、毎年賀露海水浴場を町民みんなで清掃を実施し、県内外の人たちに楽しい思い出づくりとなる環境を提供しています。
2. 「元気を考える」グループでは、世代間交流としてニュースポーツとカレー・サンドウィッチづくりを実施し、運動と食育の推進交流事業を展開しました。
3. 「幸せを考える」グループでは、教養講座を開催し、若者から年配まで地域みんなで勉強に励みました。また、人権等の屋外教養講座も開催しました。
4. たくましい賀露健児を育てる活動として、「冒険基地」と題し、木工、料理等を講師とともに楽しむ会を年 3 回開催しました。また、夏休みにキャンプファイヤーを初めて実施し、小学生親子で楽しい夜を過ごしました。
5. 地域の魅力づくりとして、年末に賀露かっこ館前にイルミネーションを装飾し、なごみの場づくりを行いました。
6. 賀露のまちづくりや活性化を目指して、アダプト活動として市道沿いの草刈りを行いました。また、ボランティアの会による小学校奉仕作業等が行われました。今までの公民館祭を自治会主導の町民文化祭とし規模を拡大して、たくさんの住民に楽しんでもらいました。
7. まちづくり協議会の活動を町民に広く理解してもらうため機関紙「かる便り」の発行を行いました。

#### ◆ 今後の計画

自治会主導の「新組織体制」に移行し、今後この組織体を円滑に運営していきます。

向こう 3 年を試行期間として運営し、良い部分・悪い部分を見つけ出し、よりよい「まちづくり協議会」として進める事を目標とします。

会 長	西墻 豊嗣	所在地	鳥取市湖山町北一丁目 202-1
事務局長	杉谷 一司	TEL/FAX	0857-28-1017 / 0857-28-1119
設立年月日	平成 21 年 10 月 28 日	Mail	cc-koyama@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,495 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/koyama-1
組織構成	22 町内会長代議員、12 構成団体長代議員、6 公募代議員		

### 地域コミュニティ計画 『湖山地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 23 年 12 月 25 日（平成 24 年 8 月計画改訂）
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 1 歴史・文化のまち霞の里づくり 2 健康で安全な福祉のまちづくり  
3 生活基盤の充実 4 美しい景観のまちづくり 5 活力ある地域コミュニティの推進

### ◆ 地域の課題

湖山地区に於いては、未加入町内会が 2 地区（ローズガーデン、ガリレオ）あります。

加入促進をはかっているところではありますが、自治会に加入することのメリットが分かりにくい等の理由で加入に至っておらず、継続して加入要請を行っていきたくと考えていますが、行政からの働き掛けもお願いしたいところです。

また、自主防災会組織の充実を図ることを目的として、防災リーダーの養成に力をいれているところです。

併せて、交通安全指導員が 3 名程度確保するよう指導がなされていますが、現状 1 名ということで問題視しています。

### ◆ 主な活動内容

#### 1. 理事会による改善活動

- a. 「次年度活動スローガン」の策定と「行事計画方針 & 予算編成方針」の審議・策定
- b. 自治会の組織・運営方法等の問題点審議および提案、地域のニーズ／課題の調査、把握

#### 2. 自治会 4 事業実施グループによる主要行事

- |              |                          |           |
|--------------|--------------------------|-----------|
| a. 文化祭       | d. 健康ライフセミナー             | g. 自治会研修会 |
| b. 湖山学講座     | e. ヒストリーポイントの点検、プランター花植え |           |
| c. 文化芸術を楽しむ会 | f. 自治会報「がんど」、自治会だよりの発行   |           |

#### 3. 構成団体による主要行事

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| a. 湖山地区敬老会    | f. 四季の交通安全運動    | k. 小地域懇談会            |
| b. 全町内会合同避難訓練 | g. 集団ガン検診       | l. 年越し餅つき大会          |
| c. 防災フェスタ     | h. ありこまち(高齢者喫茶) | m. 青パト防犯パトロール（自治会共催） |
| d. HUG 研修会    | i. 健康ウォーク       |                      |
| e. 避難所開設訓練    | j. しゃんしゃん体操     |                      |

### ◆ 今後の計画

- a. 理事会機能強化による地区住民サービスのスパイラルアップ
- b. 代議員協議会により全構成団体との定例意見交換会の実施による自治会活動の充実
- c. 地域住民の変化に対応し「自治会も自ら変化していく」活動強化
  - ①代議員の負荷軽減策の検討と実施
  - ②町内会の特性（世帯数・年齢構成等）を考慮した各種委員選出依頼の仕方を改善
  - ③自治会活動情報の見える化強化（発信媒体の改善、分かり易い情報発信）

会 長	山本 慶治郎	所在地	鳥取市湖山町西一丁目 512
事務局長	坂本 雄司	TEL/FAX	0857-31-3581 / 0857-31-3582
設立年月日	平成 20 年 11 月 9 日	Mail	cc-koyamanishi @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,304 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/nisi-1
組織構成	人づくり人権交流部会、健康福祉部会、安心安全環境部会		

### 地域コミュニティ計画 『湖山西地区地域コミュニティ計画』

- 策定時期 平成 21 年 10 月 4 日（平成 27 年 4 月 19 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- キャッチフレーズ 「安心して暮らせるまち 住んでよかったと誇れるまち」

### ◆ 地域の課題

湖山西地区には町内会に加入していない大学生が多く住んでおり、データの的には若者比率は高く、町内会加入率は常に低いという結果になっています。しかし、他の地域と同じく高齢化率は高く、町内会加入率は低くなりつつあり、町内会や地区の各種団体の役員の成り手がおらず、円滑な自治活動の維持が難しくなっています。

### ◆ 主な活動内容

「湖山西地区地域コミュニティ計画」に基づき、毎年重点的に実施する事業を設定して、組織ぐるみの取り組みを推進し、所期の目標達成を目指し活動しています。令和 4 年度より、一括交付金制度を取り入れ、公民館との組織・予算の一本化により、効率化を図りました。また、事業についても新しく 3 つの部会を設け、部会ごとに事業を実施する体制にしました。

#### 事業① 人づくり人権交流部会事業

人づくり人権交流部会のメイン事業は、『湖山西ワクワクまつり』（地区文化祭）で地域文化の向上と住民交流の場として、毎年開催しています。令和 4 年度は、飲食物を提供しない等制限を設けて開催しました。また、子ども向けの事業も多く開催しており、子どもが主役の地域文化の推進として毎年『湖山西っ子のつどい』を開催して、簡単なモノづくりなどで楽しみ、地域ぐるみで子ども達を育む風土づくりを促進しています。

#### 事業② 健康福祉部会事業

健康福祉部会のメイン事業は、『湖山西校区町民運動会』と『湖山西地区敬老会』ですが、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止としました。健康系の事業には参加者も多く、ウォーキングやニュースポーツなども行っています。

#### 事業③ 安心安全環境部会事業

環境美化活動として、これまで湖山池北岸一帯の草刈り作業を毎年 2 回行っていましたが、令和 4 年度は更に草をかった後の土を耕し、花苗を植えて『湖山西フラワーロード』をつくりました。今後は、この部会のメイン事業になりそうです。また、安心安全な事業として、啓発講演会や『地区防災訓練』も開催しています。

### ◆ 今後の計画

まちづくりの営みは、一過性の活動で終わらせてはならない。「あせらず、止まらず、一步一步」を行動理念と心がけ、より多くの住民参加を目指す活動へと発展させていくことが大切であると考えています。

持続可能な地域づくりを進めるために地域組織のあり方について検討を進め、昨年度の公民館に続き、今年度は青少年組織を人づくり人権交流部会に取り込み、組織の効率化を図りました。

また、町内会に加入していない大学生にも地域の一員として一緒に活動してほしい、SNS などを活用して地域情報を発信しており、今後も働きかけを行っていきます。

会 長	石脇 佳秀	所在地	鳥取市商栄町 423 番地 2
事務局長	村田 憲太郎	TEL/FAX	0857-27-4813 / 0857-27-4818
設立年月日	平成 20 年 11 月 28 日	Mail	cc-chiyomi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	455 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.jp/tiyomi-1/
組織構成	自治会・各種団体・会長推薦者・公民館		

### 地域コミュニティ計画 『千代水地区コミュニティ計画』

- 策定時期 平成 23 年 2 月 28 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 人とひとがつながり夢のある住みよいまち

#### ◆ 地域の課題

千代水地区は、旧千代水小学校区を区域とした 6 地区からなる静かな純農村だったが、近年では、河川・道路の整備、新興住宅地の増加、区画整理、商業・娯楽施設の進出等により、都市化が進み、賑わいのある街と化してきた。それに伴い、小学校の通学区域の見直し、他地区への編入などがあり、今では、2 小学校区域、7 町区 455 戸となっている。

校区は地区の活動生活基盤であり、校区分散は活性化の希薄に繋がる可能性があるため、交流の機会を積極的に実施して、支え合い・親睦を深める必要がある。

また他地区同様、役員の高齢化や 6 5 歳を過ぎても働く人が多く、町内会や各種団体の役員を受ける人を見つけることが困難となっており、日頃から地区活動への参加を促すなど、住民同士が馴染みとなる仕組みづくりが必要である。

#### ◆ 主な活動内容

##### (1) コミュニティ促進事業

地域住民の活動発表の場の提供、住民意識の啓発活動、広報などの事業

- ・千代水ふれあいまつりの開催
- ・まちづくりだより発行
- ・活動に必要な備品整備

##### (2) 防災防犯事業

地域の安全・安心に関する事業

- ・消火体験
- ・救急救命研修
- ・交通安全研修会の開催
- ・防災意識高揚の研修

##### (3) 環境美化事業

生活環境の改善、自然環境の保護など地域の環境美化の推進の事業

- ・ポイ捨て一掃大作戦の実施
- ・環境美化セミナーの開催
- ・庭先花いっぱい運動の展開

##### (4) 健康福祉事業

健康増進・スポーツの振興、子育て支援、高齢者福祉等に関する事業

- ・ウォーキング交流会
- ・ちよみカップ体育の祭典
- ・ラジオ体操交流会、生活習慣病などの講演会

##### (5) 歴史文化事業

郷土の歴史や文化の伝承、人権啓発の推進、生涯学習等に関する事業

- ・ウォークラリー交流会
- ・千代水連の育成及びじゃんしゃん傘踊りへの参加
- ・伝統芸能発表交流会

#### ◆ 今後の計画

更なる会員相互の交流促進と地域コミュニティの活性化を図るため、「千代水地区まちづくり実施計画」5 年計画の着実な推進に向けて事業を計画します。

会 長	幸本 加津雄	所在地	鳥取市浜坂四丁目 11-21
事務局長	小谷 誠一	TEL/FAX	0857-27-0711 / 0857-27-0713
設立年月日	平成 21 年 2 月 27 日	Mail	cc-hamasaka @it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,924 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hama-1
組織構成	総務・広報部、防災・防犯部、福祉部、保健・体育部		

### 地域コミュニティ計画 『オアシス浜坂まちづくり計画』

- 策定時期 平成 22 年 5 月 10 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 「あいさつ運動」や六大事業への参画を通して、集い、ふれ合い、助け合う  
安心・安全な住み易く、心豊かなまちづくりを目指す。

#### ◆ 地域の課題

浜坂地区は近年、宅地造成が進み、浜坂小学校は鳥取県内で一番のマンモス校となりましたが、以前から居住されている方の高齢化が進み町内会からの退会、そして、新しく居住される方が町内会に加入されないなど世帯数が減少傾向にあり、隣近所の付き合い、地域の事業への参加が無いなど防犯面でも地域全体で取り組んでいかなければと考えています。

#### ◆ 主な活動内容

- 事業①** コミュニティづくりに欠かせないのは人と人とが繋がることです。当協議会では「おはよう」「ありがとう」「しつれいします」「すみません」の「オアシス」標語を募集し、啓発広報板を設置して、積極的に「あいさつ運動」を展開しています。
- 事業②** 地区納涼盆踊り大会において自治連合会に協賛して、打ち上げ花火を担当しています。  
納涼盆踊り大会のフィナーレを盛り上げます。
- 事業③** 地区公民館文化祭においては、屋台村を開設し賑わいを創出しています。
- 事業④** 「オアシス浜坂まちづくりNEWS」を毎月発行し 181 号になりました。  
事業開催のたびに内容を周知するチラシを作成し全戸配布をして参加の呼びかけをしています。

#### ◆ 今後の計画

地域住民の安心・安全を守るために、地域コミュニティがお互いを信頼し、助け合える人間関係を築き上げることが求められています。そのために「あいさつ運動」のさらなる推進、コロナ禍で中止されていた、地区の六大事業へ積極的に協力・参加し絆を深めていきたいです。

また、各町内における班組織・ご近所同士の結束を強めて、非常変災の時の互助の組織を確立するとともに、平素からの見守り活動を強化します。「まちづくりは人づくり」を合言葉に今後も取り組んでいきます。

会 長	福田 忠司	所在地	鳥取市古郡家 79-4
事務局長	堀 哲男	TEL/FAX	0857-51-8128 / 0857-51-8131
設立年月日	平成 21 年 2 月 22 日	Mail	cc-yonesato@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	909 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yone-1
組織構成	総務・広報部会、福祉・健康部会、安全・環境部会、生涯学習・教育部会、青少年育成部会		

### 地域コミュニティ計画 『米里地区地域コミュニティ計画』

- 策定期限 平成 21 年 12 月 20 日（平成 31 年 3 月 23 日 第 8 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 2 月 12 日
- 目 標 明るく住みよい「よねさと」

#### ◆ 地域の課題

高齢化や人口減少が一層進む中、定年延長や再雇用など 60 歳を過ぎても会社等で働く人が増え、自治会や各種団体の役員を確保することが困難になってきている。団体や組織の在り方や運営方法の見直しを図り、役員の負担感を減らして、現役世代を含めより多くの住民に関わってもらうことが必要。そのため、SNS なども含め広報を通じて、老若男女多くの人に活動や事業を知ってもらうことが必要。

また、コロナ禍により、地域内での身近なつながりも弱くなっているため、日常的な助け合い・支え合いを取り戻し、安全安心な地域としていくことが必要。

#### ◆ 主な活動内容

##### ① 三大大行事「地区納涼祭」「地区大運動会」「米里まつり」の実施

実行委員会を組織して継続して実施するなど多くの住民に参加してもらい、身近なつながりを強め、地区の活力とるおいづくりにつながるよう取り組む。（※今年地区大運動会の実施ができなかった。）

##### ② 防災など安全安心に向けた取り組み

各町内会自主防災会の体制強化、地区内の連携強化に向け、地区組織の役員などの体制を見直すとともに、防災資機材を年次的に整備していく。また、支え愛マップづくりをモデル町内会の取り組みからさらに他町内会へと展開するべく、研修等を行う。

##### ③ 地域資源の再発見

地域の宝を再発見しようとコロナ禍で始めた「米里かるたウォーク」。地域内を歩くのが初めてという人の参加もあった。次のステップとして、地域のシンボルでもある大路山などの自然・景観や歴史的環境を維持し、将来にわたり活かしていく取り組みを進める。

#### ◆ 今後の計画

- ① 今後は限られた資源で効果的に事業効果が得られるよう、一層各団体間の連携を深めることが必要となっている。組織維持のための活動はできるだけ削減し、行うべきことは何かという視点で取り組む。
- ② コロナ禍明けを見据え、まずは、地区三大大行事の再開。そして町内会単位のつながりを取り戻すため特別配分金を設けるなど、前例踏襲でない新しい取り組みを誘導する。
- ③ コミュニティ計画についても、将来の目標に向けて取り組むこととするよう見直していく。また、限られた人員や資源の中で、持続可能なよねさとづくりに向けて組織の見直しを進めていく。

会 長	足立 幹夫	所在地	鳥取市桂木 307-11
事務局長	藤原 義雄	TEL/FAX	0857-51-8253 / 0857-51-8270
設立年月日	平成 21 年 2 月 20 日	Mail	cc-tsuno@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	963 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tunoi-1
組織構成	津ノ井地区自治会・区長会・地区各種団体・公民館		

### 地域コミュニティ計画 『地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 23 年 4 月 25 日（平成 29 年 2 月 10 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 賑わい・心の通う・活気ある・安全な・住みよい津ノ井づくり

#### ◆ 地域の課題

高齢化の影響もあり、地域活動の中心の年齢もあがって担い手不足が顕著になっています。近年のコロナ禍の影響を受け、次世代や若者世代との交流機会が減少しました。また、社会基盤の関係から、定年後も働く人が多くなり、地域活動への積極的な参加が難しくなっています。地区公民館と文教地区との距離が離れており、「つどう」ことが自然にできていないことも課題です。

#### ◆ 主な活動内容

##### ≪環境整備事業≫

1. 空山ウォーキングロード・空山公園の草刈り及び整備
2. 多目的広場及び芝生の管理

##### ≪活性化事業≫

1. 環境大学、鳥取工業高校、桜ヶ丘中学校、津ノ井小学校との交流及び児童生徒の地域活動はコロナ感染対策で活動中止
2. 環境大学生の講師による小学生夏休み学習教室はコロナ感染対策で中止
3. 陶芸クラブと児童の夏休み陶芸教室の開催

##### ≪文化芸能継承事業≫

1. 傘踊り保存会 OB と合同で会員増員計画により、週一回の合同練習の実施

#### ◆ 今後の計画

##### ≪環境整備事業≫

1. まちづくり協議会共催事業を自前設備で開催するためにパイプ椅子 100 脚購入

##### ≪活性化事業≫

1. 環境大学、鳥取工業高校、桜ヶ丘中学校、津ノ井学校との交流及び地域活動への協力要請
2. 陶芸クラブ会員と児童の夏休み陶芸教室の開催

##### ≪後継者育成事業≫

1. 地区中学生、高校生の地区行事への参加
2. 鳥取環境大学生、鳥取工業高校の地区行事への参加および協力

##### ≪文化芸能伝承事業≫

1. 地区伝統芸能の継承活動

傘踊り保存会の会員定着にむけて傘 2 本購入・銭太鼓保存会等後継者育成活動支援

会 長	亀井 良博	所在地	鳥取市若葉台南二丁目 16 番 1 号
事務局長	林 好人	TEL/FAX	0857-52-2616 / 0857-52-4119
設立年月日	平成 20 年 4 月 27 日	Mail	cc-wakabadai@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,362 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/wakaba-1
組織構成	会長・副会長 4 名・事務局長 1 名・理事 9 名・会計 1 名・監事 2 名・総務部・健康部・福祉部・環境部		

### 地域コミュニティ計画 『若葉台まちづくりランドデザイン』

- 策定期間 平成 22 年 7 月 18 日（平成 29 年 4 月 15 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」

#### ◆ 地域の課題

若葉台地区は「津ノ井ニュータウン」として平成元年より入居が始まり、今年で早 35 年を迎え入居が早かった 2 つの丁区では、65 歳以上の高齢化率が 30% を超え、空家も増加、それに伴い高齢者・単身の世帯も毎年確実に増加しています。新型コロナ感染防止対策により、高齢者の方が外出を控えられ、感染防止対策が緩和された後もその状態は続き、地域全体がコロナ禍前と様子が大きく変わり、まちづくりのメインテーマ「みんなでつくる顔の見えるまち・若葉台」の一番大切な「顔の見えるまち」が確実に希薄になった事です。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 「若葉台まちづくりランドデザイン」

住民ニーズに合致した「若葉台まちづくりランドデザイン」を平成 21 年度に策定し、その一つとして、若葉台地区の山林に、遊歩道を整備し、安全に散策のできるウォーキングコースを造り、毎年春と秋に「里山ウォーキング」を行っています。

##### 事業② 「WAKABADAI イリュージョン」・「クリスマスイベント」

「若葉台を活気のある、明るいまちに」をコンセプトに平成 22 年度より開始し、今年で 13 年目を迎えます。

##### 事業③ 「鳥取市道アダプトの会」

平成 27 年度に設立し、わかば中央通りの歩道や大池周辺の遊歩道の剪定・刈込、花壇づくりなどの環境整備を行っています。

##### 事業④ 「若葉台地区ふるさと祭り」

わかば若竹踊りを始め、やぐらや提灯など、地区住民の手づくりによる祭りを平成 28 年度から開催しています。令和 2 年よりコロナ禍により中止としていましたが、令和 5 年より再開に向けて準備しています。

##### 事業⑤ 「若葉台カフェ」

令和元年度から公民館内にカフェを立ち上げ、誰でも気軽に集える場所として、地域の方々に親しまれています。

##### 事業⑥ 「道路・遊歩道愛称名の募集」

令和 2 年度に若葉台小学校の児童を対象として募集し、遊歩道を「大池ふれあいロード」「なかよしロード」に、若葉台小学校に隣接する一般道を「カリヨン通り」と命名しました。

##### 事業⑦ 「大池ふれあいロード復活プロジェクト」

令和 4 年度にはプロジェクトの一環として、遊歩道に、若葉台小学校 6 年生の原画を基にした壁画を作成しました。今後も毎年 3 枚づつ設置して行きます。

#### ◆ 今後の計画

住民参加型のまちづくり（協働のまちづくり）の推進に向け、意見・要望を取り入れながら地域全体の意識付けを図り、行政・自治会・各協議会・小中学校・大学等と連携して、事業の充実・バージョンアップを図りながら新規事業の企画立案に取り組んでいきます。

会 長	福田 克彦	所在地	鳥取市国府町宮下 1012
事務局長	横山 浩	TEL/FAX	0857-26-5925 / 0857-26-5929
設立年月日	平成 20 年 12 月 18 日	Mail	cc-kfmiyanoshita@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,558 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/miyanoshita-1
組織構成	特色ある地域づくり部会 生活環境部会 文化健康部会		

### 地域コミュニティ計画 『宮下地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 1 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標 「みんなで参加！みんなで楽しく！」

#### ◆ 地域の課題

65歳を過ぎても働く人が増えており、年間の様々な活動にも参加者の年齢層の広がりが少なくなっています。それと同様に宮下地区まちづくり協議会役員も若返り化が難しいのが現状です（担い手不足）。地区公民館事業と連携しながら、小学生等も対象とした活動を計画し、異年齢交流の機会を増やしていきたいと考えています。

#### ◆ 主な活動内容

宮下地区は、鳥取市東部に位置し、文化史跡が数多くあり万葉ロマンの漂う美しい自然に囲まれた地域です。宮下地区まちづくり協議会は、これらの地域資源を活かした『こころ豊かな安全で住みよいまちづくり』の活動に取り組んでいます。

次の3つの部会を中心に、地区住民が「みんなで参加！みんなで楽しく！」を合言葉に、集い繋がりを広げ深める活動を進めています。

##### ○特色ある地域づくり部会＝地域の特色・魅力を活かしたまちづくり

桜つつみライトアップ、桜まつり、因幡国庁跡さつき祭りグラウンドゴルフ大会、因幡国庁跡お月見会  
地区納涼七夕まつり、池田家墓所紅葉ライトアップ、地区新年の集い、宮下音頭の普及活動

##### ○生活環境部会＝安心・安全で美しいまちづくり

史跡公園美化活動、花いっぱい運動、地区周辺一斉清掃活動、宮ノ下っ子見守り活動  
地区防災訓練への協力（地区防災会主催）、椎茸植菌教室への協力（宮下地区公民館主催）  
刈払機操作実技講習会・剪定講習会

##### ○文化健康部会＝豊かな心を育む健康づくり

宮下地区敬老会、健康料理講習会、地区史跡巡り健康ウォーク、文化祭グラウンドゴルフ大会  
国府町内史跡探求勉強会

#### ◆ 今後の計画

設立以来15年目となりました。これまでの地域に定着してきた上記の事業を地区公民館の事業との連携を図りながら改善を加え、「心豊かで、安心・安全な美しいまちづくり」に取り組んでいきます。

「みんなで参加！みんなで楽しく！」とともに「和(ワ)n(ン) Team 宮下」をモットーに、地域の各組織と連携をし、より多くの地区住民が参加できて、人と人との繋がりを大切にした「まちづくり」の活動を進めていきます。

会 長	磯見 義隆	所在地	鳥取市国府町新町二丁目 246-4
事務局長	石本 一夫	TEL/FAX	0857-24-0417 / 0857-24-0418
設立年月日	平成 21 年 1 月 25 日	Mail	cc-kfaoba@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1020 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/aoba-1
組織構成	総務部、健康・福祉部、環境・文化部、防災・防犯部		

### 地域コミュニティ計画 『あおば地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 5 月 29 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 住民相互の連帯感と自治意識の高揚を図り、各種団体と密接に連携して、魅力があり安心・安全で住み心地のよいまちづくりを推進する。

#### ◆ 地域の課題

各部会役員は積極的に活動をしていただいておりますが、それぞれ高齢化に伴い、次世代のメンバー育成が課題となっております。地区内にはアパートが多数あり居住者と地域とのつながりは希薄で、自治会に加入していない方が多くあり、今後どのようにして関係性を深めるかも課題です。

#### ◆ 主な活動内容

##### (総務部)

- ・顔見知りを広げていくあいさつ運動の推進(のぼり旗の増設、地域内の要所で街頭活動)
- ・地域資源(ひと・もの・お宝)の発掘と地域課題解決に向けた認識の共有

##### (健康・福祉部)

- ・地域住民が憩い、青少年の健全な遊び場としてのあおば公園の芝生と森の維持管理
- ・住民相互のつながりや信頼関係を深める親睦スポーツ活動の実施

##### (環境・文化部)

- ・地域の緑と花を育てる活動と文化・教養・生きがいつくり事業の推進

##### (防災・防犯部)

- ・防災・減災意識啓発と避難ルートマップの作成
- ・児童の登下校の見守り活動と防犯の「まちの眼」づくり

#### ◆ 今後の計画

##### (総務部)

- ・地域の活性化につながる事業の創出と展開
- ・取り組みの意識の醸成と多くの参画を促す広報活動の充実

##### (健康・福祉部)

- ・あおば公園の芝生の日常管理(芝刈り、水やり、施肥、冬芝の種まき)
- ・健康づくりウォーキングなど住民の健康増進を図り、つながりを深めていく活動の充実
- ・食に関する健康講座、料理教室などの開催

##### (環境・文化部)

- ・あおば公園の周囲土手の整備(マツバ菊の管理)
- ・歳時に合わせた物づくり教室の開催

##### (防災・防犯部)

- ・大規模災害を想定した家庭内対策の啓発・推進
- ・支えあいマップの作成(要支援者に対する支援のマッチングの視覚化)
- ・地域の各機関・施設・商店等と連携した防犯・防災の体制づくり

会 長	山田 準二	所在地	鳥取市国府町糸谷 15-1
事務局長	山本 章正	TEL/FAX	0857-24-1636 / 0857-24-1646
設立年月日	平成 21 年 3 月 14 日	Mail	cc-kftani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	556 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tani-1
組織構成	生活・環境部会、健康・福祉部会、特色ある地域づくり部会		

### 地域コミュニティ計画 『谷地区地域コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 22 年 3 月 23 日（平成 24 年 5 月計画改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標
  - 1 自然景観を守りゴミのない清らかな川が流れるきれいなまちづくり
  - 2 安全・安心なまちづくり
  - 3 健康でいきいきと心豊かに暮らしていけるまちづくり
  - 4 支え合いにより安心して暮らしていけるまちづくり
  - 5 あいさつから始まり心地よい暮らしができるまちづくり
  - 6 季節の花薫り心安らぐまちづくり
  - 7 歴史と文化を大切にし活力があり誇りがもてるまちづくり
  - 8 参加と協働による住民主体のまちづくり

#### ◆ 地域の課題

国府町は高齢化率が 40% を超えていて、谷地区でも小学生児童がいない自治会が 18% に達している。水田耕作者も年々減少してきて、耕作者の平均年齢も高齢化が進んでいる。コロナ禍で 3 年連続中止していた 10 月開催予定の運動会は令和 5 年度も中止が決まった。数多くの文化史跡や因幡の傘踊りなどの伝統芸能を手掛かりに、誇りをもって取り組める谷地区の地域活性化、まちづくりを模索している。

#### ◆ 主な活動内容

- 水辺の楽校谷広場の整備と活用：地域住民の憩いの場となるよう年 3 回水辺の楽校谷広場を草刈・整備。
- 軽トラ市とフリーマーケット：夏は 8 月 11 日（山の日）に盆用品、農産物、秋は農産物等を軽トラック朝市を開催。
- あいさつ標語の募集と掲示：あいさつ運動推進のため小学生、一般から広く標語募集し、国府東小学校校区の 3 つのまちづくり協議会合同で沿道にあいさつ標語立看板を作成・掲示。
- 花いっぱい運動の推進：プランターに花苗を春秋の年 2 回植栽し、全自治会のバス停周辺等に設置。谷地区の中心で道沿いの通称「お花ばたけ」に四季折々の花を通年植栽。
- てくてく歩(ある)公開(こうかい)：谷地区の名所、旧跡を巡るコースをご当地クイズで楽しみながら健康ウォーク実施。今年度は春・秋年 2 回開催予定。6 月は殿ダム周辺散策コース実施。
- しゃんしゃん体操の普及：事前に数回講習会を実施し、夏の納涼七夕まつりで披露。
- 地区内一斉清掃と通学路の安全点検：7 月下旬、各集落毎に一斉清掃し、同時に子どもと共に安全点検実施。
- 地区総合防災訓練：今年度は 9 月 10 日に鳥取市総合防災訓練と谷地区総合自主防災訓練を同時開催。
- 冬季ふれあい室内グラウンドゴルフ大会：冬季の健康づくりと親睦・世代間交流のため開催。
- 子ども椎茸栽培教室：毎年国府東小 4 年生を中心に子ども椎茸栽培教室実施。

#### ◆ 今後の計画

- 憩いのサロン充実：認知症予防・脳トレ、健康づくりのため多目的ホールに e スポーツ「たいこの達人」設置。
- 伝統芸能の保存・継承：9 月 30 日因幡の傘踊りの祭典に合わせ、徳次郎自主映画上映会を開催。



会 長	山本 幸徳	所在地	鳥取市国府町栃本 471-3
事務局長	岸本 武司	TEL/FAX	0857-58-0809 / 0857-58-0811
設立年月日	平成 21 年 4 月 18 日	Mail	cc-kfokaya@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	87 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/okaya-1
組織構成	集落選出の郷づくり委員、各組織代表など		

### 地域コミュニティ計画 『おおかや郷づくり協議会 郷づくり計画』

- 策定期限 平成 30 年 3 月 1 日（令和 4 年 4 月 1 日 改定）
- 支援宣言 平成 30 年 3 月 22 日
- 目 標 〈活動のスローガン〉住んで良かった！！帰って良かった！！大茅の郷

#### ◆ 地域の課題

住民の高齢化と少子化・過疎化が急速に進み、組織づくりに携わる者の減少に加え、ここ数年のコロナ禍を機に、更に気力が失われている様な雰囲気が見え隠れする状況です。空き家は増える一方で、防犯対策も一つの課題です。

#### ◆ 主な活動内容

殿ダム（因幡万葉湖）の上流に位置している大茅地区を、何とかして住民が住み易く活力のある地域にしたいという思いで 40 年程前に立ち上げた地区振興協議会を、まちづくり協議会として継続組織で発足し活動していましたが、令和 4 年 4 月から公民館組織とまちづくり組織を一本化した「おおかや郷づくり協議会」として新発足しました。

「交流部」「環境部」「生涯学習部」の専門部を設けた組織とし、これ迄は主に公民館主導の形で計画実行されていた感の地域イベントについては、新しい組織への転換を機に、大茅地区の環境を生かした地域住民自らの発案を大切に、地域住民が先頭に立って、都市との交流も活動に加えての事業展開をやろう、という方向に向かっていくところです。（ホテルまつり・雨滝コンサート・雪イベント）

従来から実施している生涯学習関連事業は継続する事とし、森と緑に囲まれた自然環境を生かした事業を模索しつつ、少子高齢化の進むこの地域に、人と人との交流を生み出し、地域に賑わいと活性化を作っていく為の事業展開を目指しており、コミュニティ計画としてはこれ迄の方針と基本的には変更はありませんが、地域住民の自主性を重んじた方向を主とし、従来の事業内容に変更を加えつつ、新しい内容も取り入れていきたいと思っています。（山菜薬草の会・秋を観る会・スポレクなど）

#### ◆ 今後の計画

住民の高齢化は進む一方で、当地区では 75 歳以上が 6 割に迫っており、60～70 歳代はまだまだ現役世代です。こういう方々の健康づくりと仲間づくりも大きな課題です。ふれあいサロン・健康講座の充実実施も不可欠で、活動のスローガンに掲げている「住んで良かった」「帰って良かった」と言えるような地域づくりを目指し、地域資源の再発見と有効活用などを軸に、他地域との交流を通じて特色ある「郷づくり」を模索していきたいと思っています。

会 長	谷口 孝義	所在地	鳥取市福部町細川 668
事務局長	谷岡 陽一	TEL/FAX	0857-75-2817 / 0857-75-2564
設立年月日	平成 25 年 4 月 16 日	Mail	cc-fukube@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	808 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/fukube-1
組織構成	地域学習部、生活環境部、安全・安心部、公民館運営部		

### 地域コミュニティ計画 『福部町地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 14 日
- 目 標
 

1 生き生きとした地域を創造する運動	2 美しい生活環境を創造する運動
3 青少年の健全な発達を促進する運動	4 高齢者の社会参加を進める運動
5 資源を大切に循環型社会を創造する運動	6 安心・安全のまちづくりを進める運動
7 地域の伝統文化・行事を継承する運動	8 ふれあいを大切にする地域を創造する運動
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日

#### ◆ 地域の課題

福部地区は、第一次産業である農業を主体とする地域で、春の水稲作付けに始まり、梨・らっきょうと収穫期に向けて多忙な農作業が続きます。この間、多くの人が一室に会する事業の開催が困難な状況にあります。

従って、初冬から年度末にかけての主催事業が過密になり、一層充実した取組が望まれています。

#### ◆ 主な活動内容

福部まちづくり協議会は、「明るく生き生きとしたふれあい豊かなまちづくりを推進する」目的達成のため、八つの重点目標を定めた福部町地域コミュニティ計画に沿った事業を展開しています。平成 25 年度に「福部町むらづくり運動推進協議会」から「福部まちづくり協議会」に改称しました。あわせて、3つの専門部を創設して、地域コミュニティ計画に定めた運動の牽引役を明確にし、活動の円滑化とまちづくりの核となる地域集落の運動の活性化を図っています。

現在の活動状況で特筆すべきもののうち、花づくり運動は、昭和 63 年に発足していた「むらづくり運動推進協議会」の当時から取り組んできた事業で、現在では、21の全集落に小・中学校、幼・保園、事業所なども参加して、花いっぱいコンクールを行っています。9月下旬頃に審査を行い、優秀な地域は、4月に開催する総会で表彰しています。町内コンクールに参加した団体のいくつかは、市が行う花壇・プランターコンクールに参加し、毎年優秀な成績を収めています。

また、7月の第1日曜日を一齐清掃の日と定め、集落単位で、市道や河川、公園などの除草作業や側溝の清掃などを実施しています。さらに、安全・安心とふれあいのまちづくりの一環として、通学路である県道福部停車場線の国道9号県(あがた)交差点から福部駅までの間を「あいさつロード」と定め、毎月1日から7日までの1週間「あいさつ運動」推進の幟旗を設置し、各集落でも掲揚して運動の啓発を行っています。

#### ◆ 今後の計画

福部まちづくり運動は、(1)集落公民館組織の整備や活動の支援、(2)町民あがての花づくり運動の推進、(3)町内一齐清掃の実施、(4)まちづくり推進大会の開催、(5)あいさつ運動の推進などの活動に取り組んでいます。今後も設立の目標を踏まえて、これらの運動を継続するとともに、花づくりでは、集落のみならず市道などにも植栽し、多くの方にも楽しんでいただける取り組みを考えています。

会 長	谷口 吉左衛門	所在地	鳥取市河原町長瀬 45-1
事務局長	美田 収一	TEL/FAX	0858-85-2959 / 0858-85-2970
設立年月日	平成 21 年 11 月 16 日	Mail	cc-kawahara@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	886 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kawahara-1
組織構成	地域・環境のまちづくり部会、安全・安心のまちづくり部会、福祉・健康のまちづくり部会		

### 地域コミュニティ計画 『河原地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 8 月 2 日（平成 29 年 4 月 15 日改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 地域の様々な課題解決に向け、自治会を中心として各種団体と地区住民が協働し、地域をより良いものするため、目的に沿った活動を展開します。

#### ◆ 地域の課題

河原地区は公民館設立当時の 8 集落から現在は 11 集落となり今日に至っております。

鳥取市全体では人口減少が進む中、人口も世帯数も何とか維持できている地区だと思っています。しかしながら、自治会加入率の低下と地域住民同士のつながりの希薄化には充分に対応できているとは思えません。全戸対象の防災訓練、親睦運動会などを通じて一歩ずつ取り組むことが大切だと思います。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 河原地区防災訓練

避難訓練を実地で行い、災害発生時に、河原町総合支所対策本部から「避難指示」が出された時点から、地区住民が避難を完了するまでの各部落の必要な対応を検証する。部落放送や携帯電話利用の連絡体制づくり、班長制度の活用、部落内の要支援者の把握、移動方法や避難経路、避難時間など想定される課題を見つけ出し、実態に即した改善対策を検討することを目的として、今年で 1 1 回目の開催となる。第 9 回目より、家族の無事を知らせるサインとして、黄色いハンカチを玄関先に掲示し、安否確認を容易に行うことを目的とする「黄色いハンカチ大作戦」を実施しており、地域住民にかなり浸透してきている。

##### 事業② 健康ウォーキング

健康づくり推進と地域住民の親睦のために、毎年ウォーキングを実施している。地区の健康づくり推進員との共催事業で、今年で 1 2 回目となる。

##### 事業③ 高齢者サロン

高齢者の交流の場、助け合いの場、また、居場所づくりとして高齢者サロンを開催している。春には、健康に関する講座や認知症についての学習などを行い、秋にはバスを利用し、野外研修を実施している。

#### ◆ 今後の計画

- 【地域・環境のまちづくり部会】 かわはら芝公園のコミュニティ活動、花いっぱい運動、芝生の維持・管理、運動会開催支援  
霊石山保全活動、緑化活動
- 【安全・安心のまちづくり部会】 防災事業への取り組み（第 1 1 回河原地区防災訓練の実施）、防災用具の整備  
防犯パトロールの実施、地域の防犯対策（クリスマスシーズンにイルミネーションの設置）
- 【福祉・健康のまちづくり部会】 小地域懇談会参加支援、地区親睦グラウンドゴルフ大会開催支援  
高齢者サロンの開催、敬老会の開催支援、健康ウォーキングの実施
- 【広 報】 河原地区まちづくり協議会だより発行（公民館だより裏面に掲載）

会 長	蓮 佛 和 也	所在地	鳥取市河原町山手 459-1
事務局長	田 中 幸 穂	TEL/FAX	0858-85-0448 / 0858-85-0449
設立年月日	平成 21 年 9 月 29 日	Mail	cc-kunifusa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	304 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kunifusa-1
組織構成	総務・広報部、生涯学習部、健康・福祉部、安心・安全部、環境・美化部、コミュニティバス部、サロン部		

### 地域コミュニティ計画 『いきいき国英夢づくりプロジェクト』

- 策定時期 平成 22 年 3 月 25 日（令和 3 年 1 月 24 日 一部改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標 住みよいふるさとづくり、活気あるふるさとづくり、共に支え合うふるさとづくり、人が輝くふるさとづくり、魅力あるふるさとづくり

#### ◆ 地域の課題

国英地区は高齢化率が 40%を超え、少子化も進行しています。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一段と、地域のコミュニティが希薄化しています。又、児童・高齢者等の交通弱者の移動手段の確保が課題となっています。

#### ◆ 主な活動内容

上記の課題克服に向けて、7つの主要テーマをもとに、7つの専門部会で活動を展開しました。

- ・総務・広報部 : 霊石山保全活動、碑台地樹木のせん定、国英を語る会、いきいき国英ふるさとづくりだより（毎月発行）  
公民館周辺の清掃活動、敬老会
- ・生涯学習部 : いきいき国英納涼祭、視察研修、写真コンテスト、そば打ち体験、さつまいも植付け収穫
- ・健康・福祉部 : ストレッチ体操、高齢者と子どものふれあい（年 1 回）、高齢者つどいの会（年 5 回）  
体育まつり、健康まつり、薬膳料理教室
- ・安心・安全部 : 朝のあいさつ活動（年 3 回）、防災訓練・救急救命講習会（年 3 回）
- ・環境・美化部 : 花いっぱい活動（年 2 回）、芝生の管理（4 月～10 月）
- ・コミュニティバス部 : コミュニティバスの運行・管理
- ・サロン部 : 「カフェいこい」の運営、くにふさ食堂の開催

山陰海岸ジオパーク保護保全活動支援事業補助金を活用し、霊石山を地域住民はもとより、多くの他地域の皆さんにも、いつまでも親しみ、愛していただくために、地域住民の手で自然環境の保全をしています。

#### ◆ 今後の計画 ～7つの主要テーマをもとに、7つの専門部会で活動を展開します～

- ・総務・広報部 : 霊石山保全活動、碑台地樹木のせん定、国英を語る会、いきいき国英ふるさとづくりだよりの発行（毎月）  
公民館周辺の清掃活動、敬老会
  - ・生涯学習部 : さつまいもの苗植付け・収穫、いきいき国英納涼祭、視察研修、写真コンテスト、そば打ち体験
  - ・健康・福祉部 : 世界の料理教室、異世代交流事業、体育まつり、健康まつり、高齢者つどいの会（年 5 回）
  - ・安心・安全部 : 朝のあいさつ活動（年 3 回）、防災訓練・救急救命講習会
  - ・環境・美化部 : 花いっぱい活動（年 2 回）、さつまいもの苗植付け・収穫、芝生の管理（4 月～10 月 2 週間ごと）  
草刈り管理（可燃物処理場・年 3 回）
  - ・コミュニティバス部 : コミュニティバスの運営 ・サロン部 : 「カフェいこい」3 回/週 実施、「くにふさ食堂」5 回/年 実施
- 地域の一人ひとりが、出来ることで地域づくりに参加（活動・学習・理解）して交流を深め、誰もが顔見知りになり、親しみのあるふるさとづくりを目指します。

会 長	前田 伸一	所在地	鳥取市河原町牛戸 15-1
事務局長	窪田 清志	TEL/FAX	0858-85-0445 / 0858-85-0591
設立年月日	平成 21 年 12 月 6 日	Mail	cc-saigo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	423 世帯	HP	https://sites.google.com/view/inaba-saigou/
組織構成	広報部、文化部、福祉健康部、環境部（三滝部）、農林部、やどかり部		

### 地域コミュニティ計画 『いなば西郷むらづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 11 月 27 日（平成 27 年 4 月 25 日 第 2 次計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 1 笑顔あふれる元気な郷                      2 美しい自然の郷  
3 文化が息づくものづくりの郷                      4 活いき農業の郷                      5 手をつなぐ開かれた郷

#### ◆ 地域の課題

西郷地区の高齢化率は 49%を超え、部落によってはほとんど高齢者ばかりのところもあり、それに伴って草刈りや雪かき等生活環境の維持、買い物、部落行事や神事の継承等に困難が生じてきています。また、60 歳の定年以降も働く人が増えたり、若年層の労働環境が厳しかったりと、次世代の担い手を見出すことが難しくなっています。

やどかり部の活動などで、移住希望者も時折現れますが、多くの空き家は修繕が必要で、せっかくの機会を生かせていません。住民の精神的な核となっている小学校の統廃合問題も現実的な課題となっています。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①「西郷工芸の郷」としてより前へ、より力強く

工芸の郷として西郷を盛り上げていこうと平成 28 年に発足した（一社）西郷工芸の郷あまじやくと連携し、西郷の魅力の増進に取り組んでいます。現在では陶芸 6 窯元のほか、木工やガラス、銀工の 3 工房が参加しています。今年第 8 回を迎える工芸祭り、フォーラムやワークショップのほか、移住作家の募集やそのための空き家の整備も行い、より多くの人に西郷を知ってもらおうと活動しています。

##### 事業②山林河川や農地など、周囲の環境を守り、はぐくむ

西郷の美しい自然を保全し、関心を持ってもらおうと、環境部・三滝部を中心に地元部落とも連携しながら曳田川や高山三滝周辺の美化活動、野鳥観察などを開催しています。また、県指定名勝三滝溪の千丈滝への道を復活させたいと活動する三滝まもり隊とも協力し、周辺整備や三滝夏祭りなどのイベントも実施しています。また、農地水まもり隊が率先して、農地・農水路の保全活動を行っています。さらに、曳田川に多くの魚影を復活させたいと、地元有志が「曳田川に魚を増やす会」を今年度発足させ、活動を始めました。

##### 事業③ 文化と思いを世代から世代へ、人から人へ

小学校と連携し、しめ縄づくりやしいたけ植菌など、地域住民と小学生と一緒に作業する世代間交流事業を行っています。敬老会や健康体操、「まちの保健室」などの行事もむら協の主催で行い人的交流の促進に努めています。また、西郷の歴史を残そうと今昔の資料を発掘する作業を R3 年度から始めており、R6 年度にはまとめる予定です。さらに、年 4 回むらづくりだよりを発行・全戸配布し、多くの写真で活動を報告、情報共有に努めています。

#### ◆ 今後の計画

- 組織の高齢化が進む中、事業整理が課題で、担い手の負担を減らした、持続可能な組織運営を模索していきます。
- ここ数年、組織の在り方の検討を進めており、承継および世代交代のための取り組みが必要です。
- コロナ下であっても、感染対策をしたうえでできるかぎりの行事を開催してきましたが、5 類移行を経て、高齢者等要配慮者に留意したうえで事業を行っています。

会 長	前田 伸二	所在地	鳥取市河原町佐貫 784-6
事務局長	山田 和志	TEL/FAX	0858-85-2905 / 0858-85-2938
設立年月日	平成 21 年 3 月 25 日	Mail	cc- sanki@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	502 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/sanki-1
組織構成	地域活性化部会・教育文化部会・地域交通部会		

### 地域コミュニティ計画 『ふるさと散岐地域づくりコミュニティ計画』

- 策定期期 平成 22 年 9 月 30 日
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 安全・安心及び環境にやさしいさんきづくり  
 活力ある地域コミュニティでさんきづくり  
 心豊かな生活と子どもが健やかに成長できるさんきづくり  
 地域の自然・文化、人材を活用しながら、みんなで子どもを育てるさんき  
 健康で暮らしやすいさんきづくり  
 情報発信と事業推進に取り組みます

#### ◆ 地域の課題

散岐地区は、高齢化と過疎化が進む中山間地域です。65歳以上でも働く人が増え、地域活動や役員選びなどの決定が困難になってきています。高齢の方には運転免許証を返納されている方も多く、令和4年4月から始めた共助交通を既に利用されている方もおられますが、もっと多くの方に利用していただきたいです。又、サークル活動も現在は1団体でのみの利用で、今後増やしていきたいと思います。高齢者が孤立しないように、公民館事業などへの積極的な参加を声掛けしていくことも、今後の課題の一つです。

#### ◆ 主な活動内容

- 広報誌『ふるさと散岐地域づくりだより』第 12 号を発行しました。
- 気軽にモルック：体育会と共催で地域住民 8 チームを募り開催（37 名参加）
- 楽しくカローリング：体育会と共催で地域住民 6 チームを募り開催（20 名参加）
- らっきょう畑ウォーク：バスで砂丘に行き、らっきょう畑周辺を散策（42 名参加）
- 散岐の元気を届けよう～高齢者世帯への声かけ見守り活動～：  
 地域の特産加工品等を持って訪ね、地域活動の参加など外出等の誘引（17 名参加）
- 門松づくり：地域住民と作成し、公民館玄関に設置（10 名参加）
- 防災・減災事業～安心安全なまちづくり～：  
 八頭消防署の方による救命救急講習会 AED 等の実技、講習（21 名参加）

#### ◆ 今後の計画

- 高齢者世帯への声かけ・見守り活動
- 伝統をつなぐ～正月飾り（門松）を作ろう
- 第 12 回さんきウォークラリー
- マップ作り
- モルック
- 防災・減災事業

会 長	谷山 吉雄	所在地	鳥取市河原町曳田 186-21
事務局長	田淵 要	TEL/FAX	0858-85-2951 / 0858-85-2952
設立年月日	平成 22 年 3 月 14 日	Mail	cc-yakami@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	179 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yakami-1
組織構成	役員、代議員（各部落の役員・委員代表・婚活担当）		

### 地域コミュニティ計画 『八上輝きの里づくり協議会コミュニティ計画』

- 策定期期 平成 22 年 11 月 8 日
- 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 「人を大切にする、やさしい心が育つまち」  
「自然を大切に、人々が安心して暮らせるまち」  
「暮らしを大切に、魅力ある産業が確立されたまち」

#### ◆ 地域の課題

協議会の事務局である八上地区公民館は、3 集落を対象として活動している小規模館です。  
課題は事業の参加者に集落ごとの偏りがあり、利用者も同じようなメンバーとなる傾向がみられます。公民館の直近 3 事業への参加者を見ても 80%が 1 集落の参加という状況にあります。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①八上校区まちづくり協議会（兵庫県丹波篠山市）との交流会

昨年 10 月には 3 年ぶりに交流会を再開し、こちらから出かけて黒豆の収穫体験を行いました。今年度 9 月には本地区に来て頂き交流会をすることが決まり、とうふちくわ作り&カローリング大会を行い交流予定です。

##### 事業②地区防災&もちつき大会

この事業は防災意識向上を図る目的で、鳥取県自主防災活動アドバイザーの方をお招きし「災害を他人ごとにならないために」と題し講演して頂き、敷地の駐車場で「もちつき大会」を行いました。今年度も引き続き講演会・もちつき大会を開催します。

##### 事業③コミュニティ活性化事業（八上夏祭り・公民館まつり）

昨年は初めて「ホテルを見る会」を開催し、天候にも恵まれ暑い一日となり 150 名余りの方にご参加いただき、出店「焼きそば・たい焼きなど」とビンゴゲームが大盛況でした。今年度は名称改めて「八上夏祭り」としイベントを増やし子どもから大人まで楽しく参加できる企画を多数実施します。公民館まつりも屋台を出店します。

#### ◆ 今後の計画

地域課題の対応としては、各集落への出前事業を計画しています。また、今年はコロナ禍で中止していた敬老会・運動会を計画しているところです。

今後も地区の課題と向き合いながら、八上地区がさらに活性化していくよう内容・進め方を工夫しながら住民の皆さんと共に事業を実施していきたいと考えます。

会 長	辛 川 宗 雄	所在地	鳥取市用瀬町用瀬 253
事務局長	有 本 健 一	TEL/FAX	0858-87-3108 / 0858-87-3411
設立年月日	平成 21 年 3 月 24 日	Mail	cc-mochigase@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	488 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mochigase-1
組織構成	生活安全部会、健康福祉部会、教育文化部会、地域美化部会、地域活性化部会、広報、総務会		

### 地域コミュニティ計画 『用瀬地区まちづくり計画』

- 策定期期 平成 22 年 5 月 31 日  
(平成 26 年 4 月 27 日 第 2 次計画 改訂) (平成 30 年 4 月 第 3 次計画 改訂)
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 自然を大切に、ひとにやさしいまちづくり ～自然を生かした心のふれあう用瀬地区～

#### ◆ 地域の課題

年々高齢化率の上昇と、少子化、また人口減少に拍車をかけています。公民館利用者の固定化と高齢化にも影響を受けています。地区内では、空き家も増加し、利活用できずに廃屋になるケースもあります。

若者が地域にかかわることが希薄になっており、今後まちづくり協議会の事業内容が課題となります。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① 松明行列の復活（7月22日の夕刻）

例年、三角山のふもとにある女人堂までの間、松明に火を灯し歩きます。また、カ石（願掛け石）に願い事を託し、祈願成就の印として石を手向けます。親子で参加できる事業ですので、今後も継続していくことが大切だと思っています。

##### 事業② 用瀬ふれあい運動会（6月第2日曜日）

4年間開催できなかった運動会を実施しました。地域住民が一体となる事業が開催され、地域の活気を期待します。今後も、住民多数の参加できる事業を計画していきます。

##### 事業③ 瀬戸川の鯉のぼり流し（5月1日～5日）と流しびなまちかざり（旧暦3月3日）

鯉のぼり流しに関わっていた団体がなくなり、地域活性化部会で引き継いでいきことが決定し、2か所限定で実施しました。期間は、5月連休の間で、初日は中学生ボランティアを募り、一緒に鯉のぼり等の設置をしました。また、流しびな行事開催当日までに、まちなかを統一したつるし飾りでもてなすため、まちかざりの会が中心となりつるし飾りを作り上げました。今後もまちの活性化のために継続していく事業です。

#### ◆ 今後の計画

5つの部会の事業は、固定化した事業もありますが、毎年部会を開催し内容の課題・検討を実施しています。

他の部会や団体と重複している部員もあり、集落からの選出も難航しているようです。

現在の地域の現状をふまえた上で、事業計画と内容を検討していきます。住民に対してまちづくり協議会事業に参加を促し、魅力ある事業を展開させていく努力をしていきたいと思ひます。

会 長	西村 正雄	所在地	鳥取市用瀬町鷹狩 3-12
事務局長	谷村 伸一	TEL/FAX	0858-87-2884 / 0858-87-2892
設立年月日	平成 21 年 3 月 7 日	Mail	cc-omura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	398 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/omura-1
組織構成	地域活性化部会、文化体育部会、健康福祉部会、広報委員会		

### 地域コミュニティ計画 『大村地区まちづくり計画書』

- 策定期間 平成 22 年 3 月（第 1 次計画書作成）、平成 23 年 1 月（第 1 次概要版作成）  
平成 26 年 3 月（第 2 次計画書改訂）、令和元年 3 月（第 3 次計画書改訂 概要版作成）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- スローガン 「だれもが参加 みんなでつくる ふるさと大村」

#### ◆ 地域の課題

各集落の住民の高齢化による過疎化に伴い、住民同士のつながりが希薄になり、防犯・防災・救急などの緊急事態時にどれだけ互助活動に繋がれるかまちづくりの根幹が試される時機にきています。一方では、鷹狩駅近くに若者世代による新規居住者が増加しておりますが、当該自治会への加入について受け入れ側の自治会からは各種の事情により、新規の自治会として対応してほしいとの考えもあり、新規加入者側の思いと合致できず新たな課題が発生しています。

#### ◆ 主な活動内容

新型コロナの影響を引きずったまま新年度に移行したことにより、大きなイベントである「大村地区大運動会」「おう穴まつり」は中止となりましたが、環境美化活動の「春・秋の花いっぱい運動」「クリーンもちがせ」「資源回収」は、感染予防に留意しながら年 2 回ずつ開催いたします。少しずつではありますがコロナに対応しながら日常経済活動は動き出しています。高齢化に伴う各事業役員の心理的負担も考慮しながら今後も各種の会議、事業を進める必要があります。

- ① 地域活性化部会〔役割：地域活性化・地域資源の活用・環境美化・防火防災・防犯等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕主に環境美化活動を行っています。上記記載の事業をはじめ、地域の自然遺産である「赤波川溪谷のおう穴群」も毎年ボランティア 60 名～70 名で整備作業を行います。整備後 7 月 22 日から 8 月 20 日まで「おう穴群」周辺の 2 か所に仮設トイレを設置します。夏場の「赤波川溪谷のおう穴群」でリゾートを楽しんでほしいと考えています。
- ② 文化体育部会〔役割：文化・芸能・スポーツ・青少年育成等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕今年も 7 月に「防犯パトロール大村」を開催し、智頭警察署員を指導者に招き地区住民との連絡会を開催します。通年の活動として小学生・中学生の登下校時見守り活動を行っています。「大村地区大運動会」「おう穴まつり」は中止。
- ③ 健康福祉部会〔役割：地区住民の健康づくり、福祉活動等の課題の検討及び解決策を協議し支援する。〕10 月にはふれあいまつりで作品の展示等、11 月には人権研修会を計画しています。「用瀬町米寿・喜寿・敬老祝賀会」は中止となりましたが、記念品・写真撮影は例年通り実施しました。
- ④ 広報委員会は、例年通り「広報おおむら」を年 2 回の発行に向けて地域の情報や事業報告等記事の収集等を行っています。

#### ◆ 今後の計画

身近な地域の課題である「安全・安心なまちづくり」のため防災マップの利用、緊急時避難所物品の充実、開設所（公民館）受入れ訓練、救命救急・消火・避難・通報訓練など、様々な事例に合わせた訓練を行うとともに、課題別に検討委員会を立ち上げて話し合いを進めていくこととしています。

会 長	西川 功美	所在地	鳥取市用瀬町宮原 88-1
事務局長	坂本 武寛	TEL/FAX	0858-87-3473 / 0858-87-3478
設立年月日	平成 22 年 3 月 20 日	Mail	cc-yashiro@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	419 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/yashiro-1
組織構成	調査・広報部会、安全・環境部会、健康・福祉部会、文化・スポーツ・少年部会、いきいき社バス事業部会		

### 地域コミュニティ計画 『社むらづくり計画書』

- 策定期間 平成 23 年 3 月 22 日
  - 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
  - 目 標
- 1.年間を通して、活動の調査・情報収集を行い、広報誌等で地域住人に対して広く広報活動を行います。また、定期的に事業を見直します。
  - 2.地域防災の充実を図り、安心安全なむらづくりを目指します。また、環境問題に対しては、自分の身近なところでの環境美化や地球環境保全の事業に取り組みます。
  - 3.社地区が健康で楽しく、安心して暮らせる安住の地となるようむらづくりを図ります。
  - 4.地域伝統文化に触れることを通して地域への誇りや愛着心を育み、活気に満ちた地域作りを行い、次世代に伝えていきます。また、スポーツを通して、交流・ふれあいの場を設けて、地域住民の体力増進・維持を図ります。
  - 5.地域住民の生活を支える移手段を維持、確保します。また、利用者ニーズに合った共助交通を運行します。

#### ◆ 地域の課題

少子高齢化に伴う人口減少はさらに進み、後継者も少なくなる傾向は否めません。地域に住み続ける次世代の定着が求められます。地域には 16 の集落があり、各集落毎に自治会活動等を行っていますが、役員の負担も増えています。

また、鳥獣被害（猿、鹿等）・自然災害（土砂災害等）への対策が急務です。

自助、共助、公助のバランスをとり、より安心・安全な環境作りが必要です。

#### ◆ 主な活動内容

【調査・広報部会】 広報誌“やしろ”を年 4 回発行しています。

【安全・環境部会】 平成 28 年に結成した“住民見守り隊”は、主に小中学生の夏休み中の見守り活動を行い、日常の声かけや散歩時のパトロールなどの活動をしています。資源回収活動も継続して行っています。また、平成 23 年～25 年に設置した有害獣侵入防止柵の維持管理なども行いました。

【文化・スポーツ・少年部会】 「地区運動会」「グラウンドゴルフ大会」を開催し、若い世代から高齢者までスポーツを通して親睦を深めています。「洗足山登山会」では、登山後、恒例の“千賊鍋”を地区内外参加者全員で囲み、交流しています。

【健康・福祉部会】 平成 27 年度から社地区全体のサロン「福の会」を月 1 回開催し、現在は 40 名程度の方が参加して住民のふれあいの場となっています。また、「いきいき社むらまつり」の開催など地域活性化につながる事業を開催しています。

【いきいき社バス事業部会】 令和 4 年 4 月 1 日より鳥取市交通空白地有償運送補助金事業として、共助交通「いきいき社バス」の運行を開始しました。

#### ◆ 今後の計画

地区内の伝統文化等の情報収集や支援を行い、住民に紹介・体験の場を設け、継承・発展を行っていきます。また、子育て世代の活動を支援していきます。令和 4 年度から運行を開始した共助交通「いきいき社バス」をより広く利用して頂けるように努めます。

会 長	小谷 繁喜	所在地	鳥取市佐治町加瀬木 2542-1
事務局長	竹本 康宏	TEL/FAX	0858-88-0228 / 0858-88-0219
設立年月日	平成 21 年 2 月 8 日	Mail	cc-saji@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	741 世帯	HP	https://sajimirai.jimdofree.com
組織構成	健康・福祉部、文化・スポーツ部、地域・環境部、広報部、公民館事業部		

### 地域コミュニティ計画 『佐治町まちづくり計画書』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 21 日 （平成 31 年 4 月 22 日 第 3 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 ～子ども世代には夢を 現役世代には希望を 高齢者には安心を～

#### ◆ 地域の課題

佐治町の人口は 17 年間で約 1,100 人強、率にして 40%減少し、現在では約 1,620 人となっています。また、65 才以上の高齢化率も 50%を超え、過疎と少子高齢化が突出している地域となっています。地域活動への関心低下、集落機能の低下、担い手不足など数々の課題を抱えています。公共交通機関が少なく買い物や通院の課題、耕作放棄が増え獣害に対する課題、働ける場所が無く若い世代が町外へ出て小学校、保育園が無くなる可能性があります。

#### ◆ 主な活動内容

- 集落の公民館を会場に、健康教室、石鹸デコレーション、ものづくり教室、七夕の飾り付け、ロケットストーブ作り、クリスマスリース作り、などの各種セミナーや講演会、地域にてルディックウォーク、地元の神社調査、門松作りなどを行いました。
- 地域の人に先生になってもらうことで、学校の授業だけでは体験できない学習を数多く行うことができました。地域全体で子どもを見守り育てることで、より豊かな能力、人間力を身につけ成長する手助けになっています。また、普段学校に行くことのない地域の方にとっても、佐治の子どもたちを知る機会になっています。毎月行っている小学校、保育園に地域の方が何うあいさつ運動や、小学校運動会に参加したり、地元の梨のおやつ作り、とんど焼きなどを児童、地域の方と一緒にやりました。
- 地域が一体となった環境整備、景観形成の実現を目的に、国道清掃、花だんや道路への植え付け作業、季節ごとの寄せ植えを行い、佐治を訪れる人達のためだけでなく、わたしたちの町の魅力を生かした景観づくりに取り組み、地域に愛着を持ち、生き甲斐づくりになってもらえるよう活動しています。
- 地域の方からの強い要望で実施したスマホ教室では、参加者の平均年齢が 60 才以上であり、スマホがいかに関生活と密着し、なくてはならないものであるかということが分かりました。携帯電話の活用などにより孤立することをなくし高齢者の福祉の向上に力を入れていきたいと考えます。

#### ◆ 今後の計画

地域組織支援モデル事業一括交付金を受け、地区公民館とまちづくり協議会が一体となりました。地域づくりと社会教育を連動させた事業を展開していきたいと考えます。

- 【健康・福祉部】 (1) 高齢者ふれあい隊「世代間交流」 (2) 子ども見守り隊「安全・支援」
- 【文化・スポーツ部】 (1) 伝統文化芸能サミット「文化活動」 (2) スポーツ MUSUBI 隊「体育活動」  
(3) みんなと学び隊「青少年育成活動」
- 【地域・環境部】 (1) きれいな佐治を取り戻す計画「環境・美化活動」  
(2) みんなでできる防犯・防災対策「防災等支援活動」 (3) 地域活性化活動
- 【広報部】 (1) まちづくり協議会新聞「ええさじかげん」の発行 (2) ブログの発信
- 【公民館事業部】 (1) 生涯学習の啓発と実施 (2) 公民館だより発行

会 長	原 克 栄	所在地	鳥取市気高町宝木 904
事務局長	吉田 和行	TEL/FAX	0857-82-2407 / 0857-82-2417
設立年月日	平成 20 年 11 月 19 日	Mail	cc-hogi@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	591 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hogi-1
組織構成	防災防犯、ふれあい市推進、桜土手整備、貝殻節踊り推進、同窓会推進、 アーカイブ保存、たより啓発、健康を考える会推進		

### 地域コミュニティ計画 『宝木地区まちづくり協議会（コネット宝木）地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 22 年 2 月 25 日（平成 29 年 4 月計画改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標
  - 1 宝木地区自主防災連絡協議会と連携した、地区防災活動にて共助社会を目指す。
  - 2 野菜を中心とした地産地消の推奨、地域住民のふれあいの場の提供。
  - 3 植樹を行った、河内川沿いの桜の管理。
  - 4 貝がら節まつり一斉踊りに参加し、部落内の一体感、部落間の連帯意識の向上をめざし、親睦をはかる。宝木地区の存在感の向上。
  - 5 21 歳の宝木小学校卒業生による同窓会を企画開催し、対象者に地域の良さを感じ、愛着の醸成を支援する。
  - 6 宝木地区の過去・現在の写真をデジタル保存し、地区風景・建物等のアーカイブを蓄積する。蓄積写真は文化祭等で住民に公開。
  - 7 まちづくり協議会の活動を知っていただく。（全戸、通勤通学者等へのチラシ配布）
  - 8 地区民の健康について考え、生活習慣病に向き合うまちづくりを目指す。
  - 9 「宝木っ子まつり」や「宝木地区文化祭」等、宝木地区公民館と共同開催する。

#### ◆ 地域の課題

地域の課題に基づき、事業を推進するための委員会を設けて、事業を展開しており、その委員会についても改廃新設できるようにしています。

#### ◆ 主な活動内容（地域の課題に基づいた委員会により活動）※新型コロナウイルス感染拡大防止により中止事業あり

- (1) 防災防犯委員会：宝木地区全集落を対象とした「宝木地区 防災防犯訓練」を開催。
- (2) ふれあい市推進委員会：春・夏・冬の 3 回ふれあい市を開催。
- (3) 桜土手整備委員会：河内川沿いの桜土手草刈り及び桜の管理。
- (4) 貝がら節踊り推進委員会：「コネット宝木」連として、参加者による練習及び貝がら節まつり一斉踊りに参加。
- (5) 同窓会推進委員会：平成 25 年度宝木小学校卒業生（21 歳）による同窓会を企画・開催。
- (6) アーカイブ保存委員会：住民から古い宝木地区の写真を借用し、デジタル保存。文化祭等で公開。
- (7) たより啓発委員会：コネットたよりを編集作成し、全戸配布。
- (8) 健康を考える会推進委員会：集団検診啓発・運動習慣・食育の推進・広報誌・チャレンジカード・ツムラサ育成及び苗の配布・アスパラワーキングの開催。
- (9) 「宝木地区文化祭」実行委員として、役員が参加し、宝木地区公民館と共催。
- (10) 「宝木っ子まつり」実行委員として、役員が参加し、宝木地区公民館及び宝木ふれまちと共催。

#### ◆ 今後の計画

- (1) 防災防犯委員会：宝木地区自主防災会連絡協議会と連携した地区防災・防犯活動、防災防犯訓練の開催。
- (2) ふれあい市推進委員会：ふれあい市の開催。
- (3) 桜土手整備委員会：河内川土手の桜の管理。
- (4) 貝がら節踊り推進委員会：「貝殻節まつり」一斉踊りへの参加。（コネット宝木連）
- (5) 同窓会推進委員会：21 歳の宝木小学校卒業生による同窓会の開催。
- (6) アーカイブ保存委員会：宝木地区の建物風景等の過去・現在写真を収集し、記録に残し地区住民へ公開。
- (7) たより啓発委員会：宝木地区まちづくり協議会機関紙（たより）発行・全戸配布
- (8) 健康を考える会推進：健康を考える会を開催し、地区民のため健康に関する事業を計画し行う。
- (9) その他：宝木っ子まつり、宝木地区文化祭の実行委員として役員が参加し共催。
- (10) その他：コミュニティ充実のための事業。

会 長	地原 伸	所在地	鳥取市気高町浜村 11-1
事務局長	木下 公明	TEL/FAX	0857-82-6830 / 0857-82-1942
設立年月日	平成 21 年 5 月 14 日	Mail	cc-hamamura@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	1,798 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hamamura-1
組織構成	文化体育部・環境福祉部・観光経済部・啓発部		

### 地域コミュニティ計画 『浜村地区地域コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 23 年 3 月 31 日（平成 28 年 7 月 1 日第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 24 年 8 月 27 日
- 目 標 地域住民同士の横のつながりをつくり、人づくり、まちづくりに貢献する。

### ◆ 地域の課題

浜村地区は、集落によって若者や高齢者の割合に差があります。地区外からの人が増えた分譲地などでは、隣近所との付き合いが薄く、それ以外の集落は高齢者の一人暮らしも多くみられ、防災の面でもいざ災害があった時に誰が連れ出すのかなどの課題があります。また、地区内にある「貝がら節の里ヤサホーパーク」は、足湯もあり県内外から多くの利用者がいますが、維持管理にご協力いただける方が少ないことや、利用者のマナーや意識についても考える必要があります。

このため、住民同士の関係づくり、きっかけづくりの「人づくり」が課題です。

### ◆ 主な活動内容

- 「貝がら節の里ヤサホーパーク」（国道 9 号線と浜村駅の間、日本海を見下ろす景勝地に整えられた多目的公園 平成 23 年 4 月竣工）を中心に、公園内の足湯清掃、多目的広場芝生の維持管理、花植えなど実施。
- ハッピースマイルガーデン（公民館北側）維持管理。（花植え、看板設置など）
- 防災チェックシート作成、配布。
- 貝がら節と浜村温泉の P R 活動実施。
- 貝がら節資料展示実施。
- きら☆はま秋のガーデンフェスタ開催。
- ハッピースマイルガーデン イルミネーション設置。
- まちづくり協議会パンフレット作成。
- 活動だよりの発行、ホームページ・フェイスブック更新。

### ◆ 今後の計画

- 地域の活性化に向けて、ときめきまつり参加、浜村地区町民大運動会への協力。
  - 賑わいの創出まちづくり事業として、地域と密着した各種イベント（しょうがぼかぼかフェスタなど）参加。
  - 環境整備事業として、ヤサホーパークの足湯清掃・環境整備、花植え、多目的広場の維持管理。ハッピースマイルガーデン維持管理。
  - 防災への取り組みとして、浜村地区自主防災連絡協議会 防災訓練 共催。
  - 貝がら節と浜村温泉の活性化事業として、貝がら節まつり協力、貝がら節と浜村温泉の P R 活動、貝がら節資料展示。
  - 広報活動として、活動だよりの発行、ホームページ・フェイスブックの更新、地区内外への P R 活動。
  - まちづくり協議会全体の取り組みとして、きら☆はま秋のガーデンフェスタ 2023 開催。
- 今年度も、ハッピースマイルガーデンの維持管理に力を入れ「きら☆はまガーデンフェスタ」を開催し、地域住民の憩いの場として、住民同士のつながりをつくるきっかけとなる活動をしていきたいと考えています。

会 長	河根 裕二	所在地	鳥取市気高町酒津 359-1
事務局長	山下 文人	TEL/FAX	0857-82-2990 / 0857-82-3030
設立年月日	平成 22 年 4 月 24 日	Mail	cc-sakenotsu@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	144 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/sakenotsu-1
組織構成	生活環境部、防災防犯部、教育文化部、健康福祉部、総務広報部		

### 地域コミュニティ計画 『酒津まちづくり計画』

- 策定期間 平成 23 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 地域を愛する心を養い、住民が互いに支えあい、明るく、美しい元気な酒津をめざす

#### ◆ 地域の課題

酒津地区も他地区と同様に高齢化が進んでおり、現在 60 歳以上が人口の 50% に達しています。そのため、毎年同じ方が役員を引き受けざるを得なくなり、活力が年々失われているように感じています。地域の活性化や伝統行事を継承していくためには世代交代が必要不可欠ですが、今後ますます難しくなることが懸念されます。

#### ◆ 主な活動内容

##### (1) 環境美化活動の推進 (生活環境部)

- ・樽谷坂の維持管理 (ごみ拾い、草刈・草取り)
- ・樽谷坂花壇の維持管理 (苗木の植え付け、水やり、草取り)
- ・芝生広場の維持管理等 (芝刈り、肥料散布、水やり、手入れ)

##### (2) 災害に強い安心・安全なまちづくり (防災防犯部)

- ・防災 (消火) 訓練、避難訓練の実施、全戸対象
- ・消防ホース切替

##### (3) 伝統文化を残す・子どもが健やかに育つまちづくり (教育文化部)

- ・岸壁に絵を描こう (塗りなおし) ・鯉のぼり設置 ・アジ釣り
- ・酒津納涼祭協賛 (舞台の土台、照明器具、発電機、レンタル料補助) ・酒津トンドウの継承

##### (4) 健康で楽しく暮らせるまちづくり (健康福祉部)

- ・健康づくり教室  
毎月第 2 水曜日スカットボール、毎月第 3 水曜日ポッチャ、グラウンドゴルフ大会の開催年 2 回 (7 月・3 月)
- ・健康講演会の開催 11 月
- ・健康チェック 万歩計・血圧計・体重計の利用促進、健康診断受診の促進

##### (5) 広報活動まち協だより発行 (6 月・9 月・12 月・3 月) で事業内容、活動状況の住民への周知徹底

ホームページの刷新・更新 (地区外への情報発信)

#### ◆ 今後の計画

- 生活環境部：継続展開の中で、美化範囲を広げ、美化意識、モラルの向上に取り組みます。
- 防災防犯部：特に高齢者、子どもを重視し、災害発生時の安全・安心づくりに取り組みます。
- 教育文化部：少子高齢化の中で地域の伝統が継承されるよう保存の取り組みと、他への積極 P R を図ります。
- 健康福祉部：健康受診の促進と地域みんなが楽しく健康づくり (毎月設定) が行える活動をすすめます。

会 長	原田 信章	所在地	鳥取市気高町山宮 637-4
事務局長	山根 敬嗣	TEL/FAX	0857-84-2455 / 0857-84-2465
設立年月日	平成 21 年 2 月 5 日	Mail	cc-osaka@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	270 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/osaka-1
組織構成	公民館部会、総務部会、地域再生部会、協育・共生部会、えにし部会		

### 地域コミュニティ計画 『逢坂むらづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 2 月 14 日（令和 4 年 3 月 26 日 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 1 日
- 目 標 安全・安心で心豊かに暮らせる住みよいむらづくりを推進するため、地域の身近な課題を把握し、その解決に向けて活動すること。

#### ◆ 地域の課題

- ・地域住民の高齢化、人口減少が徐々に進むことによる、遊休農地や空き家の増加。
- ・若い人が集まる機会が少なく、地域住民による地域活性化が難しい状況にある。
- ・気高循環バスの利用率が低く、地域交通運行継続に向けた取り組みが緊急の課題である。
- ・気高町 4 小学校統合後の地域の在り方検討。

#### ◆ 主な活動内容

##### 令和 4 年度活動

公民館部会	コロナ禍で縮小していた事業を、コロナ禍前に近い状況で実施。スキー教室の実施。
総務部会	会報発行。運営委員会（区長会）との意見交換。防災訓練、親子防災教室。地域交通の在り方検討、循環バスのかかる要望書提出。地区住民アンケート等による地域課題の把握及び地区民との共有。HP、SNS 等での地域情報発信。
地域再生部会	各集落の遊休農地の調査。芝桜や大タブの木など経過維持。小学校グラウンドの桜の木の伐採と利活用。豊かな農地を利用した循環型農業。
協育・共生部会	放課後子ども教室。子ども秋祭りの実施。地元料理の伝承。幅広い世代交流（小学生との交流）。逢坂音頭の練習、指導。
えにし部会	鳥取大学生・留学生との交流を通して地域集落の活性化に寄与。写真展の開催で逢坂の魅力を発信。浜村温泉湯けむり映画塾の撮影協力。鷲峯山麓マラソン大会への協力。

逢坂むらづくり計画に基づく事業を更に拡充、工夫し事業に取り組んでいる。逢坂を考える会では、地区の課題・活性化について講演会を行い、小学校 PTA 奉仕作業への協力、グラウンドの整備、環境美化等、地域活動の中心的役割を果たしている。

#### ◆ 今後の計画

5 部会が連携し、地域の課題解決や期待に応えられる安心・安全で賑わいのあるまちづくりを目指す。また、伝統・文化の継承と地区内の潜在的財産、魅力を大いに P R し、地域の魅力を顕在化する取り組みを展開する。

会 長	塩田 則夫	所在地	鳥取市気高町下坂本 48-4
事務局長	八田 孝敏	TEL/FAX	0857-82-2206 / 0857-82-2262
設立年月日	平成 20 年 12 月 20 日	Mail	cc-mizuho@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	437 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/mizuho-1
組織構成	総務環境部会、健康福祉部会、地域文化部会、体育振興部会、公民館事業部会		

### 地域コミュニティ計画 『瑞穂まちづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 24 日（令和 5 年 4 月 1 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標
 

1 環境保護と安心安全に暮らせるまちづくり	2 ふれあい支えあい思いやりのあるまちづくり
3 個性と協調性が活きるまちづくり	4 健やかで活気あふれるまちづくり
5 集いあい、学びあい、つながるまちづくり	6 何でも話し合え、実現に向けて取り組めるまちづくり

#### ◆ 地域の課題

瑞穂地区では、公民館に隣接する小学校の統廃合が決まっています。地域の子どもたちが公民館と近い関係にあることは、地域の拠点である公民館にとって恵まれた環境であると言えます。学校がなくなることで地域と子どもたちの関係が希薄にならないよう、統合後も、子どもの声ができる地域を維持することが重要課題と言えます。また、廃校となった校舎等施設を、地域にとって安全で利用しやすい施設に再編することも地域の課題です。

#### ◆ 主な活動内容

##### ① 環境保護と安心安全に暮らせるまちづくり事業

- ・自然環境の保全と美しい環境づくりの推進：「あじさい・コスモスロードの維持管理」、「外来種の駆除」、「広域農道維持管理作業」を 1 年を通し継続して行うことで、環境美化の意識を高め、美しい景観づくりに努めています。また、豊かな自然環境を生かした体験学習として「ほたるを見る会」に繋がっています。
- ・地域防災力の向上：地区防災訓練の実施、防災資機材の整備。特に、いざというときの為にも、正しい知識を身につけてもらい、繰り返し訓練を行う機会を提供しています。

##### ② 個性と協調性が活きるまちづくり事業

- ・次世代への伝統文化・行事の継承：人口減少、また、日々の生活が便利になったことで、地域の文化行事、季節の行事などが簡素化され、季節感を感じる機会が少なくなっています。そこで、「名月を愛でる会」、「郷土料理教室」、「ちまき作り」などを事業で発信することで、若い世代や子どもたちも、地域・文化を知り、関心を持ってもらうことで瑞穂への愛着を持ち、伝統文化を大切にできる地域に繋がっています。

##### ③ 集いあい、学びあい、つながるまちづくり事業

- ・青少年育成につなげる地域・家庭づくりの推進：「地域の子どもは地域で守り育てる」ことを目標に、「通学合宿」、「夏・冬のみずほっ子事業」と、子どもの事業に数多く取り組んでいます。また、異世代間とのふれあいの場を提供することで、高齢者等から豊富な知識や技を習得し、高齢者等は子どもたちの成長に役立っているという役目を知ることで生きる力になっています。

#### ◆ 今後の計画

令和 5 年度から、まちづくり協議会と公民館が一体化となりました。それぞれ違う目的を持った組織でしたが、一体化になったことで、地域の課題を解決するためには（地域づくり）、生涯学習の分野（人づくり）と連携することで新しい取り組みが生まれ、地域交流の促進や、地域の活性化につながるような強い地域を目指します。

会 長	小川 義和	所在地	鳥取市鹿野町鹿野 342
事務局長	村上 光重	TEL/FAX	0857-38-0022 / 0857-84-2191
設立年月日	平成 21 年 3 月 1 日	Mail	cc-shikano@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	579 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/shikano-1
組織構成	運営委員会（会長、副会長 2 名、幹事 8 名、監事 2 名、事務局）		

### 地域コミュニティ計画 『鹿野まちづくり計画（四季薫るまち鹿野）』

- 策定期間 平成 22 年 3 月 31 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標
  - 歴史文化を大切にすまち ・風情のある街なみの整備 ・改善活動の取組
  - ・城山公園の清掃・管理の取組
  - ・伝統文化の継承と新しい文化の創造の取組
  - 花あふれる美しいまち ・四季折々の花づくり推進の取組 ・鹿野景観づくり・維持、活用の取組
  - 人にやさしいまち ・集落における福祉活動の取組 ・こころ豊かな子どもを育てる家庭づくりの取組
  - 環境にやさしいまち ・農地・山林・河川の荒廃防止の取組
  - ・エコ活動の取組 ・脱炭素に向けた環境視察
  - 健康で笑顔あふれるまち ・あいさつ運動の取組 ・健康づくりの取組
  - 安全・安心なまち ・交通安全対策の取組 ・防災・防犯対策の取組
  - ・子どもや高齢者にやさしいまちづくりの取組

#### ◆ 地域の課題

鹿野町の高齢化率は、町全体で 40%を超えている。鹿野地区は、そこまでは至っていないが、年々増加の一途をたどっている。それに伴って空き家の増加が課題の一つになっている。また、高齢者だけの世帯数が増加し、空き家予備軍化している。当会の会員団体に「空き家」対策を行っている団体があるが、今後とも当団体と行政が力を合わせてこの課題に取り組むことを支援したい。

また、公共バスの利用者減に伴い、現在共助バスを運転しているが、その運転者不足からその維持をすることに困難さが生じており、高齢者の免許証返納問題と合わせて、高齢者の移動をどうするかも課題の一つになっている。現在、民間のタクシー会社が乗り合いタクシーの試行を行っていることから、その試行を見守りたい。

#### ◆ 主な活動内容

- 安心安全のまちづくり活動…あいさつ運動標語の「のぼり旗」設置
- 集落・公園周景整備活動…竹プランターの植栽、城山・旧鹿野小の清掃活動、植木の剪定教室など
- 活性化イベント…運ウォーク、虚無僧行脚、鹿野学講座、土曜夜市、まちづくり合宿など
- 遊休農地活用事業…ジャガイモ植えと収穫、さつまいも植えと収穫、綿花栽培の貸地など
- 高齢者交流会の実施…鹿の名画座上映会、健康マージャン教室、e スポーツの集落巡回教室の開催など
- 集落防災計画…自主防災会現地研修会、各集落の防災訓練の実施、子ども防災キャンプなど

#### ◆ 今後の計画

鹿野まちづくり計画に基づき、地区民の安全・安心のまちづくりを取り組みの機軸としながら、歴史と文化を大切にしたい賑わいのあるまちづくりを進めるため、活発な活動をしている各団体と共催・支援活動事業を行います。そして、定着した活動事業にあわせて毎年重点的に推進・活動する事業を定めるとともにまちづくりの研修を深めながら「四季薫るまち鹿野」づくりの高みを目指した活動を行っていきます。

会 長	長谷川 誠一	所在地	鳥取市鹿野町宮方 147-1
事務局長	岡本 洋一	TEL/FAX	0857-84-2459 / 0857-84-2460
設立年月日	平成 21 年 2 月 7 日	Mail	cc-katsutani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	678 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/katsutani-1
組織構成	健康福祉部会、生涯学習部会、防災防犯部会、環境美化部会、教育文化部会		

### 地域コミュニティ計画 『勝谷元気づくりの会コミュニティ計画』

- 策定期間 平成 21 年 8 月 22 日（平成 25 年 5 月 改訂）
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- 目 標

#### 勝谷の魅力再発見、そして発信

～勝谷のひと・こと・ものを見直し、多くの人に伝える活動～

- 地元の魅力を再発見し、発信する活動を通して、一層の地元愛を育む
- 幅広い世代の地域住民が共に活動することを通して、地域で人を育てる気運をさらに高める

#### ◆ 地域の課題

近年勝谷地区では、県内外からの転入者の増加や、新たな事業の参入など地域の環境が大きく変わってきています。また、公民館と元気づくりの会の組織が混同し、地域の方にとってはわかりにくい構造となっています。

これらを踏まえ、新たな人材の発掘と参画、組織の再編と事業財源の見直しが急務となっています。

#### ◆ 主な活動内容

##### ①参加と協働による住民主体のまちづくり事業

・勝谷元気納涼祭、勝谷元気まつり、勝谷を考える日、地区内で実施される各種イベントの協力・支援

##### ②歴史と文化を大切にし、ふるさとを思いやる事業

・勝谷ウォーキング、お月見会、川柳教室、ゆかいな正月遊び

##### ③きれいなまちづくり環境整備事業

・コスモスの種まき、河川清掃、芝生の維持管理

##### ④安全で安心なまちづくり事業

・あいさつ運動、防災・防犯活動

##### ⑤支えあいによる健康と福祉のまちづくり事業

・健康講座、福祉施設との交流、サークル活動の支援

#### ◆ 今後の計画

勝谷地区は、近年県内外からの転入者や新たな企業の参入など地域環境は大きく変化し、世帯数も年々増加の傾向にあります。

一方で、豊かな自然や史跡・事業所などの社会資源、様々な知識や技術を有する「ひと」にも恵まれた地域です。

勝谷元気づくりの会は、活動の基本方針に基づき、地域住民の積極的な参画が得られる環境整備に努め、多くの意見を尊重し、住民主体の元気な地域づくりを目指します。

会 長	田中 義宏	所在地	鳥取市鹿野小別所 351-3
事務局長	横山 茂	TEL/FAX	0857-84-2054 / 0857-84-2060
設立年月日	平成 21 年 3 月 26 日	Mail	cc-kowashigawa@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	178 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kowashigawa-1
組織構成	安全部会、環境部会、事業部会		

### 地域コミュニティ計画 『小鷲河地区まちづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 27 日
- 支援宣言 平成 22 年 7 月 15 日
- 目 標 楽しい、おもしろい、美しいふる里をつくる

#### ◆ 地域の課題

小鷲河地区は人口減少、高齢化が進んでおり、それに伴いさまざまな地域課題が浮き彫りになっています。各種団体活動の維持、空き家問題、農業の担い手不足などが挙げられます。また数年前に民間バス路線が廃止になったことにより、これからの公共交通のあり方についても考えていかなければならないところです。

また、中山間地に位置する小鷲河地区は大雨などによる土砂災害地域が多く、冬は降雪量も多いところです。豊かな自然に囲まれている反面、イノシシ、シカなどによる獣害も多く発生しています。

#### ◆ 主な活動内容

- 総会、役員会、専門部会の開催
- ホームページの更新（随時）
- 地域情報誌の発行（年 2 回）
- 川と親しむ事業………じげの川で遊ぼう（ヤマメのつかみ取りの実施）
- 地域環境整備………法師ヶ滝遊歩道整備
  - 地区内環境整備事業（旧小鷲河小校庭の草刈り、河内川ヨシ刈り、古紙回収 BOX の設置）
  - 地区緑化推進事業（あじさい挿し木・花いっぱい運動・地区緑化事業）
  - 歴史遺跡保全事業
- 元気発信イベントの実施…小鷲河地区敬老会
  - 法師ヶ滝ウォークの開催
  - 小鷲河地区大運動会
  - 小鷲河ふるさとまつり
  - 鷲峯山麓ハーフマラソンの後援
- 安心・安全なふる里づくり…啓発のぼり旗の作成
  - 防災関連事業（こわしがわ防災講座）
  - 環境学習会の開催
- 地産地消の推進………そば打ち教室の開催

#### ◆ 今後の計画

様々な地域課題を抱える地区ではありますが、課題に向き合いながら幅広い世代からの意見も取り入れて事業計画を立て、開催事業を通じて地域住民同士の交流を広げ、問題解決に向けた取り組みを実施します。「楽しい、おもしろい、美しいふる里」作りへ向けて行政、民間の手も借りながら持続可能なまちづくりに取り組みます。

会 長	房安 薫	所在地	鳥取市青谷町山根 218
事務局長	池田 悦朗	TEL/FAX	0857-86-0836 / 0857-86-0837
設立年月日	平成 20 年 11 月 25 日	Mail	cc-hioki@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	360 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hioki-1
組織構成	特産品部会、環境部会、福祉部会、防災部会、生活交通検討会、木曜会		

### 地域コミュニティ計画 『日置地区まちづくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 12 月 27 日（令和 4 年 5 月 2 日 第 2 期計画 改訂）
- 支援宣言 平成 23 年 7 月 21 日
- 目 標 本会は日置地区を人に優しく豊かで住みやすい地域にするために、行政と連携を図りながら、その推進を図ることを目的とする。

#### ◆ 地域の課題

日置地区の小学生は、4 集落のうち 2 集落にしかおらず、それも 1 3 名。高齢化率は 5 3% を超え、少子高齢化は年々進んできている。生活防災の面から見ても昼間人口は激減し、防災体制に不安を抱える住民も多いと思われる。近年では、路線バスの廃止が懸念され、生活交通についても不安が増してきている。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業①防災活動(防災部会)

毎年、地区の総合防災訓練を行っている。令和 4 年度は、災害避難所物資の組立訓練を組み入れた。

令和 4 年度は、災害時対応の救出用工具を購入し地区に設置。また、日置地区自主防災会連絡協議会を組織して「鳥取市わがまち防災支援補助金」の交付を受け、各集落に必要な防災資機材を配備することができた。

今まで鳥取市防災リーダーや防災指導員が地区に在籍していなかったため、まち協が応援してリーダー養成、指導員選出を計画したが、養成研修会がコロナ禍のため中止となり、この計画は 5 年度に繰り越すこととなった。

##### 事業②健康づくり事業の推進（福祉部会）

合同ラジオ体操、健康づくり講演会、健康づくりウォーキングを柱に「健康寿命を延ばす」事業を継続している。令和 4 年度は、まち協設立初期のころに整備したウォーキングコースのマップを改定して再発行し、地区に全戸配布した。

##### 事業③ひおき市の開催（特産品部会）

令和 4 年度、昨年度から計画していた地元産の野菜のおすそわけ感覚のひおき市を 6 月末(単独)と 1 1 月上旬(ひおき収穫祭内)の 2 回開催した。

##### 事業④こんにゃくの特産化（特産品部会）

令和 3 年度から取り組んでいるこんにゃくの特産化活動に関しては、日置産のこんにゃく芋を加工してこんにゃくを作り、収穫祭などで販売し、多くの地域の方に味わっていただけた。こんにゃく作り教室を開催し「ひおきの手作りこんにゃく」の広がりを図った。

#### ◆ 今後の計画

- ◇福祉部会：ウォーキングコース沿いに設置したベンチが腐食・破損して危険なため修繕する。
- ◇防災部会：防災リーダー養成と防災指導員の選出に取り組む。
- ◇環境部会：年 3 回の環境整備、日置川清掃に加え、古紙・アルミ缶回収ボックスの利用促進と周辺の継続的な環境整備をしていく。
- ◇特産品部会：地産地消推進の取り組みを強化。みそづくり、手作りこんにゃくの特産化の推進。ひおき市の開催。
- ◇生活交通検討会：「鳥取市青谷町地域生活交通協議会」の協議内容を受け、日置地区地域生活交通検討会で将来を見据えた先進地視察、研修会など計画。

会 長	中島 規夫	所在地	鳥取市青谷町奥崎 384-1
事務局長	山根 加恵	TEL/FAX	0857-85-1453 / 0857-85-1466
設立年月日	平成 20 年 12 月 7 日	Mail	cc-hiokidani@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	241 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/hiokidani-1
組織構成	総務部、区長会、自主防災会、体育会、育成部、老人クラブ、景観づくり部、編集部、 人権啓発推進部、健康づくり推進委員会		

### 地域コミュニティ計画 『「幸せの里」づくり計画』

- 策定期間 平成 22 年 4 月 25 日
- 支援宣言 平成 22 年 6 月 2 日
- 目 標
  - 1 美しい自然を守り、心豊かにくらせる“里”づくり
  - 2 老若男女みんなが住みよい“里”づくり
  - 3 一人一人を大切に、安心してくらせる“里”づくり

#### ◆ 地域の課題

日置谷地区は、高齢化率が43%であり、これからも高まることが予想されています。地区活動の役員の担い手も高齢化が進んでいますが、60歳過ぎても仕事に従事する方が多く、地区活動に参加する人が減ってきているのが現状です。

子どもの数が少なくなり、各町内会単位での子ども会の活動が出来なくなって、地区の子ども同士の交流の機会が減ってきています。子どもたちが学年を超えて交流できる事業を行いたいと考えています。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① あじさいロードの整備、寒桜の保護、公民館周辺の美化活動

20年以上前に道路の法面にあじさいを植え、「あじさいロード」と名付けました。景観づくり部を中心に、年に2回の草刈りと年1回の剪定を行っています。努力の甲斐あり、毎年6月には美しい花が咲き、地区住民や通行する人の心を癒しています。2月に開花する「寒桜」の保護活動を支援していて、地区住民有志で組織する「寒桜を守る会」と連携しながら活動しています。

また、公民館周辺やグラウンドを年2回、草刈り等の整備活動を行い、常に美しい環境の公民館づくりを目指しています。

##### 事業② 防災活動

自主防災会の事業として防災訓練や講習会を開催し、地区住民の防災に対する意識を高めています。また、自主防災会の役員に対しては、役員会でDVDを視聴したり講演を聞いたりして、実際に災害が起こった時にリーダーとして行動できるよう意識を高める活動も行っています。

##### 事業③ いくつになってもいきいき暮らせる健康づくり事業

健康づくり推進委員会の事業として「メンタルヘルス講演会」「健康ウォーキング」や、鳥取市の保健師さんによる健康講演会を行っています。老人クラブの事業として、年2回の「グラウンドゴルフ大会」や「フレイル予防講座」を行っています。地区住民全体の健康づくりはもちろんですが、高齢化率は高くても元気な高齢者が多いので、高齢者が参加して楽しめる事業や健康づくりに活かせる事業を積極的に行っていきたいと考えています。

#### ◆ 今後の計画

日置谷の魅力を掘り起こし、自然を生かした活動を住民と協働で行っていきたくと考えています。また、コロナ禍で中止していた事業の再開にあたっては、感染対策を続けながら時代に合った新しい取り組みを検討し、魅力ある地域づくりを目指したいと思います。

会 長	小木 康幸	所在地	鳥取市青谷町亀尻 257
事務局長	嶋本 達夫	TEL/FAX	0857-85-0219 / 0857-85-0240
設立年月日	平成 20 年 10 月 18 日	Mail	cc-chugo@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	425 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/chugo-1
組織構成	総務部会、福祉部会、文化交流部会、健康体育部会、防犯防災部会		

### 地域コミュニティ計画 『中郷地区まちづくり計画』

- 策定期間 平成 21 年 11 月 27 日
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- 目 標 みんなでささえあい 思いやり豊かで安全なまちづくり

#### ◆ 地域の課題

まちづくり協議会委員・各種団体の委員などは毎年各集落から選出されるため、1年で交代しています。そのため、今までの事業をふまえて新しく見直していくということが困難な状況です。

また、中郷地区内の集落間の世帯数や年代に格差が大きいため、統一的な取り組みが出来ていません。高齢者ばかりになった集落は委員を選出することも難しい状況にあります。

#### ◆ 主な活動内容

##### ○中郷を語る会

地区民有志が一堂に会し、有識者の話を聞きながら地域の現状についての認識や活性化対策について議論を深めています。

##### ○中郷地区敬老会

地区の75歳以上の方をお招きし、地区内の有志による演芸などを鑑賞していただき、地区内の人達との交流を深める中で人材資源の掘り起こしにも努めています。

##### ○中郷地区大運動会

多くの皆様のご尽力によって、小学校閉校後も保育園児から高齢者まで一堂に集い、老若男女が個人競技や団体競技で楽しく交流を深めています。

##### ○中郷まつり

人との出会い・ふれあいを大切に、地域の交流や親睦を深め、地域力の向上を図り活力ある「中郷づくり」を目的とし、地域の皆さんの一年間の活動成果の発表の場として開催しています。

##### ○その他

鯉のぼり掲揚、ちまきづくり、竹細工体験、そうめん流しなど地域有志の協力のもと、小学生、中学生、地域の皆さんが集まって世代間交流、地域文化の継承など心の交流に取り組んでいます。

#### ◆ 今後の計画

##### ○拠点施設の整備

地区公民館、駐車場、グラウンド、中郷庭園、体育館、体育館周辺について地区民の協力により整備し、その利用、活用の拡大に努めていきます。

##### ○ウォーキングのまちづくり

ウォーキングマップを活用しながら健康づくりに適した自然環境の中で全地区民が誘い合い、声を掛け合いながらウォーキングを生活の一部とするようなウォーキングのまちづくりを進めていきます。

地区住民の意見をまちづくりに生かす仕組みを作り、活気のある中郷地区を目指して活動していきたいです。

会 長	長谷川 和郎	所在地	鳥取市青谷町紙屋 110
事務局長	川内 純一	TEL/FAX	0857-87-0340 / 0857-87-0343
設立年月日	平成 21 年 1 月 20 日	Mail	cc-kachibe@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	200 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/kachibe-1
組織構成	総務企画部会、地域づくり部会、ふれあい部会		

### 地域コミュニティ計画 『勝部地域まちづくり計画書』【改訂版】（令和 3 年～ 5 年度版）

- 策定期間 平成 21 年 5 月 20 日（令和 3 年 4 月改訂）
- 支援宣言 平成 21 年 12 月 24 日
- 目 標 『みんなが健康で、心豊かな活力あふれるまち かしべ』

#### ◆ 地域の課題

中山間地域の特性として、森林が多く空気がきれいでとても住みやすい環境にあり、地域への愛着心が強いところで、伝統行事を通じた特有なコミュニティが形成されている特徴があります。一方、近年、児童数の減少や高い高齢化率など、少子高齢化による過疎化が進展していることから、今後の地域活動の担い手となる人材が不足しており、将来を見据えた地域コミュニティ活動の維持向上が難しい状況にあります。

#### ◆ 主な活動内容

##### 事業① かしべ伝承館との連携

地域が一体となったまちづくりを推進するため、かしべ伝承館と連携した「味噌づくりの体験会」や「しめ縄づくり」などを実施しています。また、かしべ伝承館の近くには不動滝、湯原滝、妙円滝の三つの滝があり、往復 45 分のウォーキングコースとなっており、山陰海岸ジオパークエリアにも認定されていることから、不動谷川周辺の環境整備（スーパーボランティア支援事業）を年 2 回実施しています。本年は、コロナ禍で中止されていた「かしべ伝承館まつり」が 4 年ぶりに開催されることに伴い、不動谷川を活用した「マスのつかみ取り大会」を実施します。

##### 事業② クヌギ・コナラなど森林資源を活用した“しいたけ村”の実現

中山間地域の資源を活用した農林業の活性化のため、コナラ・クヌギなどの森林資源を活用した、しいたけの植菌体験会を実施しています。また、しいたけを使った特産品の開発と販売にも取り組み、干しいたけ・手作り味噌・梨など地域の特産品を「ふるさと便」として年 3 回発送し、勝部地域はもとより鳥取県出身者の都市圏住民との交流の促進にも取り組んでいます。

##### 事業③ スポーツ活動による健康づくりと食育活動

みんなが健康でこころ豊かなむらづくりの推進として、ふれあいグラウンドゴルフ大会や健康食アドバイスなどの活動に取り組んでいます。本年は、室内でできるニュースポーツ（モルック・ポッチャなど）を地域に広めるため、部会メンバーが指導できるよう講習会を行います。

#### ◆ 今後の計画

昨年度情報収集にとどまった、現在の公民館運営委員会とまちづくり協議会の組織の一体化、補助金等の一括交付が可能となる「一括交付金制度の活用」について、それぞれの事業のスクラップアンドビルドによる棚卸しを行い、事業を目的別に整理して具現化したいと思います。

会 長	山根 恵	所在地	鳥取市青谷町青谷 4082-1
事務局長	徳原 一実	TEL/FAX	0857-37-7420 / 0857-85-0155
設立年月日	平成 20 年 12 月 25 日	Mail	cc-aoya@it.city.tottori.tottori.jp
世 帯 数	984 世帯	HP	http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/aoya-1
組織構成	地区安全部会、地区再生部会、健康・体育部会、福祉支援部会		

### 地域計画 『青谷地区まちづくり計画』

- 策定時期 平成 22 年 10 月 21 日                      ➤ 支援宣言 平成 22 年 12 月 10 日
- 目 標 地区住民が安心して生き生きと暮らせ、地域みんなで取り組むまちづくりを目指す。
  - ◎ 地区安全部会 安心して暮らせるまちづくり
  - ◎ 地区再生部会 地域の歴史文化を生かしたまちづくり
  - ◎ 健康・体育部会 みんなが健康で生き生きと暮らせるまちづくり
  - ◎ 福祉支援部会 みんなで助け合い、支え合う福祉のまちづくり

### ◆ 地域の課題

本地区は少子高齢化が著しく進行しており、地域の役員は高齢化している。同じ人が何年も役をしているため、安定して安心・安全で歴史文化を大切にしまちづくりはできているが、反面、現状に合わせて変化させるという面では十分とは言えない。

本地区には県の施設「青谷かみじち史跡公園」ができるので、それに併せて地域を盛り上げようと一部の団体が意欲的に取り組んでいるが、単独で取り組んでいるため、横のつながりには乏しい。「かみじち」を十二分に生かした、つながりのあるまちづくりが望まれる。

### ◆ 主な活動内容

事業① 安心・安全なまちづくりの一環として、防災講習会、早朝街頭指導、夏休みの見回りパトロールを行っている。しかし、中・高校生を含む若者は、スマホによって犯罪に巻き込まれることがあるので、今後は活動場所や内容の検討が必要である。

事業② 地域に残る文化財の保存と活用の一環として、かみじち史跡公園をまず公民館職員がオープン前に見学、説明を受け、その良さを知る。そして、かみじち史跡公園の PR 活動やかみじち関連事業に取り組む各種団体の広報活動を積極的に支援する。

事業③ 住民の健康推進のために現在ある事業は継続しつつ、ミニトランポリンを使った講習会を多く取り入れ、各年齢層の健康意識を高めるとともに実技講習を行う。

事業④ 支え合う雰囲気をつくるために、高齢者のフレイル予防やスマホ講座を行い、体や脳の機能が低下しても、助け合い、支え合って楽しく生活できるようなまちにする。

### ◆ 今後の計画

今年 11 月には上寺地フェスタが予定されており、今年度中にそのガイダンス施設がオープンする。県内外から多くの来客が見込めるので、現在行っている事業は継続するが、下記の方針で町を盛り上げ、住んで楽しい青谷を目指したい。

- ①きれいな町であることをアピールするために、川や海、町全体をより一層きれいにする
- ②高齢化に対応するために、若い力（主に中学生や高校生）のボランティアの推進と、各種役員の若返りを検討する。特に中・高校生には企画から参画させることにより、自分の力で事業を動かす楽しさを味わってほしい。